

本文書は、バークレイズ・ピーエルシー(Barclays PLC)が 2016 年 3 月 1 日に発表した 2015 年度決算報告書を抄訳したものです。その正確な内容については、原文である英文文書をご参照ください。本文書と原文との間で齟齬がある場合には原文が優先されます。なお、原文は、<http://group.barclays.com/about-barclays/investor-relations/results-announcements> よりご覧いただけます。

Barclays PLC Results Announcement

31 December 2015

バークレイズ・ピーエルシー
2015 年度決算報告書

2016 年 3 月 1 日発表

目次

決算報告書	ページ
グループ最高責任者による戦略に関する報告	1-2
業績ハイライト	3-5
グループ最高責任者によるご挨拶	6
グループ財務担当取締役のレビュー	7-9
事業部門別業績	
• パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	10-11
• インベストメント・バンク	12-13
• 本社	14
• パークレイズ・ノンコア	15-16
四半期業績の要約	17-23
業績管理	
• 事業部門別リターンおよび株主資本	24-25
• 利ざやおよび残高	26
• 報酬	27-28
リスク管理	
• 資金調達リスクー流動性	29-31
• 資金調達リスクー資本	32-36
• 信用リスク	37
要約連結財務書類	38-41
財務書類に対する注記(抜粋)	
• 引当金(原文注記5)	42

グループ最高責任者による戦略に関する報告

本日発表された 2015 年度の決算に加え、リングフェンス規制要件に備えると同時に、戦略を加速化し、パークレイズ・グループを簡素化するための施策を発表させていただきます。

- 本決算報告書に詳細が記載されていますが、2015 年度決算のパークレイズのコア業務の調整後 1 株当たり利益は 25.7 ペンスとなり、発展のベースとなる強固な基盤があることが明らかになっています。
- パークレイズは価値観を重視ながら、株主の皆様にも力強いリターンを提供する道筋を整えています。
- グループを簡素化し、パークレイズ UK とパークレイズ・コーポレート&インターナショナルの 2 部門に集約します。
- 戦略の実現と足かせとなっている残存するレガシー問題を解決するために、一連の措置を実施します。
 - － 今後 2、3 年かけて、パークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド (BAGL) に対する持分を会計上および規制上、非連結化できる水準まで引き下げます。
 - － 一時的にノンコア部門に約 80 億ポンドのリスク調整後資産 (RWA) を移転し、拡大します。2017 年の終わりにまでにノンコアの RWA を約 200 億ポンドとするという指針を再確認し、拡大はするものの、特に 2016 年に処理を加速化します。
 - － 2015 年の年間配当金は 6.5 ペンスとしますが、2016 年と 2017 年の配当金は 3.0 ペンスとします。徐々に利益の大部分を配当として株主の皆様にお支払できることを期待しています。
 - － (BAGL を除いた) 新たなコア部門の 2016 年のコスト目標を 128 億ポンドとします。
- グループの新たな財務目標を有形株主資本利益率、普通株式 Tier 1 比率、収益に対する費用の比率に絞ります。

パークレイズ – 環大西洋コンシューマー、コーポレート、インベストメント・バンク

パークレイズの戦略の根幹は、ロンドン、ニューヨークという世界の 2 つの金融センターを拠点とした環大西洋コンシューマー、コーポレート、インベストメント・バンクであるという強みを基盤に構築するというものです。

資本比率の一層の強化を図りつつ、リターンの向上を目指し、地理的な拠点の効率化を継続します。パークレイズは先日、インベストメント・バンク部門の 9 カ国の拠点を閉鎖することを発表し、今般、必要とされる当局と株主の承認を得た上で、BAGL を徐々に非支配、非連結化する意向を明らかにしました。

提案された BAGL の持分の減少および 2016 年と 2017 年にかけてのパークレイズ・ノンコアの処理の加速化の結果、明確に主要な事業分野を絞った大幅に簡素化されたグループになります。本日以降、以下の 2 つの部門で運営を行います。

1. パークレイズ UK

パークレイズ UK は、顧客のニーズとイノベーションを中核に構築された、真に規模を備えた個人およびビジネス・バンキング拠点です。同部門は英国リテール・バンキング業務、英国消費者クレジットカード業務、英国を拠点とした富裕層向けサービス、小規模企業を対象とした商業銀行業務で構成されます。パークレイズは約 2,200 万人もの個人顧客、100 万社近いビジネス・バンキング顧客を有する、英国における最も優れた金融サービス業者です。本部門は 2019 年までに英国のリングフェンスされた銀行になります。参考ベースで、2015 年 12 月 31 日時点で、本部門のリスク調整後資産は約 700 億ポンド、レバレッジ・エクスポージャーは 2,000 億ポンド、預貸率は約 95% になると推計されます。

2. パークレイズ・コーポレート&インターナショナル

パークレイズ・コーポレート&インターナショナルは、大西洋をまたがって分散化された業務からなる事業部門です。同部門は、強力な国際的な潜在的成長機会を持ち、英国において市場をリードするコーポレート・バンキング拠点、一流のインベストメント・バンク、強固かつ成長しつつある米国および国際的なカード業務、国際的な富裕層向けサービス、そしてコーポレート・バンキングとパークレイカードが有する商業者を取り込む専門性を通して提供される、先進的な決済サービス能力によって構成される部門です。パークレイズ・コーポレート&インターナショナルはホールセール・バンキング、コンシューマー向け貸出、主要市場における強み、素晴らしい潜在成長性、バランスのとれた収益源といった面で規模を有し、一層の強靭性と分散化を実現しています。参考ベースで、2015 年 12 月 31 日時点で、本部門のリスク調整後資産は、およそ 1,950 億ポンド、レバレッジ・エクスポージャーは 5,750 億ポンド、預貸率は約 85% になると推計されます。

各々の部門がそれぞれ個別に評価されると、両部門により確実に投資適格水準の信用格付けが付与されると見込んでいます。また両部門とも、2015 年の仮(プロフォルマ)の調整後有形株主資本利益率は 10% 台であったと予想しています。新たな部門構成を反映した決算修正再表示文書は、4 月の第 1 四半期発表の前に発表します。

最終的にそれぞれリングフェンス、非リングフェンスされた法律上の組織になりますが、兄弟部門の創設によって、グループは簡素化され、適切な分野にパークレイズの競争優位性が集約されることとなります。簡素化された構造によって、投資家はパークレイズが、近い将来、持続可能性のあるリターンの実現と成長のために必要となる機会を、より明確に把握することができます。

グループ最高責任者による戦略に関する報告

BAGL の売却提案

本日、パークレイズのアフリカ事業、すなわち BAGL に対する 62.3%の持分を、今後 2、3 年かけて、必要とされる当局と株主の承認を得た上で、会計上および規制上の観点から非連結化できる水準まで売却する意向を明らかにします。

BAGL は多角化された質の高い事業です。しかし、BAGL の持分は株主として、BAGL に関連して保有する資本水準、英国銀行税の対外課税範囲、グローバルなシステム上重要な銀行 (GSIB) に求められる資本バッファー、自己資本・適格債務最低基準 (MREL)、総損失吸収力 (TLAC)、その他の規制要件といった面で、パークレイズに特異の問題を投げかけています。現在 BAGL の 2015 年単体、現地通貨建ての株式資本利益率は 17%であるのに対し、パークレイズのアフリカ・バンキングの部門決算では 8.7%株式資本利益率となっています。

ノンコアの処理

2013 年のスタート時点で 1,100 億ポンドあった、パークレイズのノンコア部門のリスク調整後資産を半分以上の 470 億ポンドにしました。

ノンコア部門の経営陣が残した実績と専門性を活かし主として先日発表したインベストメント・バンク部門、エジプトとジンバブエ事業 (これらは BAGL に属していません)、南欧のカード事業、アジアにおける富裕層向け事業から、2016 年および 2017 年に撤退予定の事業を一時的にノンコア部門へ移管します。このため 2015 年度末時点で約 80 億ポンドのリスク調整後資産がノンコア部門に加わります。

ノンコア部門の領域は拡大しますが、2017 年末時点でノンコアのリスク調整後資産を 200 億ポンドとする指針は変更しません。ノンコア事業の処分の加速に伴い、2016 年にはノンコア部門において 4 億ポンド近くのリストラ費用が発生することが予想されます。2016 年度のマイナス収益は第 4 四半期で計上した約 2 億ポンドの水準に概ね沿うようにします。ただし、教育・社会的住宅供給・地方自治体 (ESHLA) ポートフォリオの時価評価に関連する変動は除きます。ノンコア部門の拡大により、概算で 6 億ポンドがノンコア部門のコストに上乗せされますが、ノンコア事業の大半は 2016 年に処分されると見込んでいます。

配当金

最終回の 1 株当たりの配当金を 3.5 ペンスとし、2015 年の年間配当金は 6.5 ペンスとします。しかし、2016 年と 2017 年の配当金は 3.0 ペンスとする意向です。ノンコア部門の処分と負の遺産の削減を通して、コア部門とグループの利益が調整されれば適切な配当金を提示できると考えています。また、徐々に利益の大部分を配当として株主の皆様にお支払できると期待しています。2016 年から、配当金は四半期毎ではなく半期毎にお支払いします。

財務面での進捗と目標

配当金の削減と BAGL の売却によって、今後 2、3 年にわたり、グループの CET1 比率は、形式上少なくとも 100 ベーシス・ポイント向上し、成長による資本比率の上昇を補完します。

引き続きノンコア費用とコア部門の費用ベースを抑制し、特定行為、訴訟およびその他特記事項に係る費用を除いた 2016 年の新たなコア部門 (BAGL を除く) のコスト目標を 128 億ポンドとします。

今後のグループの新たな財務目標を 3 つの主要指標に集中し、株主の皆様へ価値を提供するためにこれらの指標を適切な期間内で達成することを目指します。

- 有形株主資本利益率 (RoTE): グループのリターンを足かせとなっているノンコア事業の削減に伴い、グループの RoTE をコア部門の RoTE に収斂させ、株主の皆様へ魅力的なリターンを実現します。
- CET1 比率: グループの CET1 比率を規制上の最低要件水準より 100 から 150 ベーシス・ポイント上回ることを目指します。
- 収益に対する費用の比率: グループの収益に対する費用の比率を 60%未満とすることを目標とします。

グループ最高責任者 **ジェス・ステイリー**

2015 年度決算は戦略の持続的な遂行と特徴づけられるものでした。

- グループの保険金控除後の調整後収益合計は 5%減少し、245 億 2,800 万ポンドとなりました。コア部門の収益合計は 246 億 9,200 万ポンド(2014 年:246 億 7,800 万ポンド)と横ばいとなり、ノンコア部門の収益合計は減少して 1 億 6,400 万ポンドの純費用となりました(2014 年:10 億 5,000 万ポンドの収益)。
- 効率化の推進は引き続き当グループの重点的注力事項であり、調整後営業費用合計は 6%減少し、169 億 9,800 万ポンドとなりました。戦略的コスト・プログラムによる費用削減効果を受け、目標達成費用を除く調整後営業費用合計は 4%減少し、162 億 500 万ポンドとなりました。
- コア部門は順調に進展し、好調な業績を上げました。税引前利益は 3%増加し、68 億 6,200 万ポンドとなり、アフリカ・バンキング(恒常通貨ベース)を含め、コア部門の全事業が改善しました。
- コア部門の税引前利益の改善はコア部門の全事業で収益が費用以上に伸びたことによるものです。平均割当株主資本が 50 億ポンド増加し、470 億ポンドとなったこともあり、コア部門の平均株主資本利益率は 9.0%(2014 年:9.2%)、平均有形株主資本利益率は 10.9%(2014:11.3%)となりました。
- 資産圧縮の加速によりノンコア部門の税引前損失が 24%増加し、14 億 5,900 万ポンドとなったことから、グループの調整後税引前利益は 2%減少し、54 億 300 万ポンドとなりました。
- ノンコア部門の圧縮は順調に進展し続け、リスク調整後資産は 470 億ポンドとさらに 290 億ポンド減少し、CET1 比率の上昇に寄与しました。ノンコア部門のレバレッジ・エクスポージャーは 1,210 億ポンドに減少しました(2014 年:2,770 億ポンド)。2015 年度下半期に発表したポルトガルおよびイタリアのリテール事業の売却(2016 年度上半期に完了予定)により、ノンコア部門のリスク調整後資産はさらに 25 億ポンド減少する見通しです。ノンコア部門の期末割当株主資本は 70 億ポンドに減少しました(2014 年:110 億ポンド)。
- グループの資本およびレバレッジ比率は引き続き上昇しました。CRD IV 完全施行ベースの普通株式 Tier 1 (CET1)比率はリスク調整後資産が 440 億ポンド減少し、3,580 億ポンドとなったことから、110 ベーシス・ポイント上昇し、11.4%となりました。レバレッジ比率はレバレッジ・エクスポージャーが 2,050 億ポンド減少し、1 兆 280 億ポンドとなったことを受け、80 ベーシス・ポイント上昇し、4.5%となりました。
- 法定税引前利益は 8%減少し、20 億 7,300 万ポンドとなりました。調整項目が 33 億 3,000 万ポンドの純損失(2014 年:32 億 4,600 万ポンド)となったことを反映しています。
- 2015 年度の最終配当として 1 株当たり 3.5 ペンスをお支払いします。年間の配当金は合計で 1 株当たり 6.5 ペンスになります。

重要な調整項目:

- 2015 年度下半期の請求件数の減少ペースが予想を下回ったことを踏まえ、将来の補償および関連費用に関する最新の見積もりに基づき、支払保障保険(PPI)に係る補償引当金 14 億 5,000 万ポンドの追加繰入れを 2015 年度第 4 四半期に行いました。また、これは、2018 年を請求の申請期限にするという金融行為監督機構の提案と、英国最高裁判所が 2014 年に Plevin と Paragon Personal Finance Ltd. が争った裁判で下した判決を踏まえて提案されている、PPI に関連する請求の取り扱いに関する規則および指針を反映しています。2015 年度の英国顧客への補償に係る引当金繰入額合計は 27 億 7,200 万ポンド(2014 年:11 億 1,000 万ポンド)となり、うち 22 億ポンド(2014 年:12 億 7,000 万ポンド)が PPI に係る補償引当金でした。
- 先に発表したイタリアのリテール・バンキング支店網の売却に係る損失 2 億 6,100 万ポンドを 2015 年度第 4 四半期に計上しました。売却は 2016 年度第 2 四半期に完了する予定です。2015 年度に計上したスペイン、ポルトガル、イタリア各事業の売却に係る損失は合計で 5 億 8,000 万ポンドでした(2014 年:4 億 4,600 万ポンド)。
- 外国為替に関連するものを含めた進行中の調査および訴訟に係る引当金 1 億 6,700 万ポンドの追加繰入れを 2015 年度第 4 四半期に行いました。これは外国為替電子取引に関する調査に関連し、2015 年 11 月にニューヨーク州金融サービス局と和解したことに伴う費用を含みます。2015 年度の引当金繰入額合計は 12 億 3,700 万ポンドでした(2014 年:12 億 5,000 万ポンド)。

業績ハイライト

当グループの決算報告

	調整後			法定		
	2015年 12月31日 (百万ポンド)	2014年 12月31日 (百万ポンド)	増減率(%)	2015年 12月31日 (百万ポンド)	2014年 12月31日 (百万ポンド)	増減率(%)
保険金控除後の収益合計	24,528	25,728	(5)	25,454	25,288	1
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(2,114)	(2,168)	2	(2,114)	(2,168)	2
営業収益純額	22,414	23,560	(5)	23,340	23,120	1
営業費用	(15,351)	(15,993)	4	(15,021)	(15,993)	6
英国銀行税	(476)	(462)	(3)	(476)	(462)	(3)
訴訟および特定行為	(378)	(449)	16	(4,387)	(2,809)	(56)
営業費用(目標達成費用を除く)	(16,205)	(16,904)	4	(19,884)	(19,264)	(3)
目標達成費用	(793)	(1,165)	32	(793)	(1,165)	32
営業費用合計	(16,998)	(18,069)	6	(20,677)	(20,429)	(1)
その他の(費用)／収益純額	(13)	11		(590)	(435)	(36)
税引前利益	5,403	5,502	(2)	2,073	2,256	(8)
税金	(1,690)	(1,704)	1	(1,450)	(1,411)	(3)
税引後利益	3,713	3,798	(2)	623	845	(26)
非支配持分	(672)	(769)	13	(672)	(769)	13
その他の株主持分 ¹	(345)	(250)	(38)	(345)	(250)	(38)
株主帰属利益／(損失)	2,696	2,779	(3)	(394)	(174)	

パフォーマンス指標

平均有形株主資本利益率 ¹	5.8%	5.9%	(0.7%)	(0.3%)
平均有形株主資本(億ポンド)	480	480	480	470
平均株主資本利益率 ¹	4.9%	5.1%	(0.6%)	(0.2%)
平均株主資本(億ポンド)	560	560	560	550
収益に対する費用の比率	69%	70%	81%	81%
貸倒率(ベース・ポイント)	47	46	47	46
基本的1株当たり利益 ¹	16.6ペンス	17.3ペンス	(1.9ペンス)	(0.7ペンス)
1株当たり配当金	6.5ペンス	6.5ペンス	6.5ペンス	6.5ペンス

貸借対照表およびレバレッジ

1株当たりの正味有形資産価額	275ペンス	285ペンス
1株当たりの純資産価額	324ペンス	335ペンス
レバレッジ・エクスポージャー	10,280億ポンド	12,330億ポンド

資本管理

CRD IV 完全施行ベース		
普通株式 Tier 1 比率	11.4%	10.3%
普通株式 Tier 1 資本	407億ポンド	415億ポンド
Tier 1 資本	462億ポンド	460億ポンド
リスク調整後資産	3,580億ポンド	4,020億ポンド
レバレッジ比率	4.5%	3.7%

資金調達および流動性

グループ余剰流動性	1,450億ポンド	1,490億ポンド
推計 CRD IV 流動性カバレッジ比率	133%	124%
預貸率 ²	86%	89%

調整後利益の分析

調整後税引前利益	5,403	5,502
英国顧客への補償に係る引当金	(2,772)	(1,110)
外国為替に関連するものを含めた進行中の調査および訴訟に係る引当金	(1,237)	(1,250)
スペイン、ポルトガルおよびイタリア事業の売却に係る損失	(580)	(446)
米国リーマン買収資産に係る利益	496	461
当グループ自身の信用度に関連する利益	430	34
確定退職給付負債の一部に係る評価益	429	-
売却事業に係るのれんおよびその他資産の減損	(96)	-
ESHLA の評価方法の修正	-	(935)
法定税引前利益	2,073	2,256

¹ その他の株主に帰属する税引後利益 3 億 4,500 万ポンド(2014 年: 2 億 5,000 万ポンド)は剰余金に計上する税額控除 7,000 万ポンド(2014 年: 5,400 万ポンド)によって相殺されます。相殺後残高である 2 億 7,500 万ポンド(2014 年: 1 億 9,600 万ポンド)は、非支配持分(NCI)とともに、1株当たり利益、平均有形株主資本利益率および平均株主資本利益率の計算に際して税引後利益から控除されています。

² 預貸率はパーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、パークレイカード、アフリカ・バンキング、ノンコア・リテールに係るものです。

業績ハイライト

パークレイズ・コアおよびノンコアの 調整後決算報告	パークレイズ・コア			パークレイズ・ノンコア		
	2015年 12月31日	2014年 12月31日	増減率(%)	2015年 12月31日	2014年 12月31日	増減率(%)
	(百万ポンド)	(百万ポンド)		(百万ポンド)	(百万ポンド)	
保険金控除後の収益合計	24,692	24,678	-	(164)	1,050	
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(2,036)	(2,000)	(2)	(78)	(168)	54
営業収益／(損失)純額	22,656	22,678	(2)	(242)	882	
営業費用	(14,478)	(14,483)	-	(873)	(1,510)	42
英国銀行税	(398)	(371)	(7)	(78)	(91)	14
訴訟および特定行為	(230)	(251)	8	(148)	(198)	25
営業費用(目標達成費用を除く)	(15,106)	(15,105)	-	(1,099)	(1,799)	39
目標達成費用	(693)	(953)	27	(100)	(212)	53
営業費用合計	(15,799)	(16,058)	2	(1,199)	(2,011)	40
その他の収益／(費用)純額	5	62	(92)	(18)	(51)	65
税引前利益／(損失)	6,862	6,682	3	(1,459)	(1,180)	(24)
税金(費用)／還付	(1,749)	(1,976)	11	59	272	(78)
税引後利益／(損失)	5,113	4,706	9	(1,400)	(908)	(54)
非支配持分	(610)	(648)	6	(62)	(121)	49
その他の株主持分	(284)	(194)	(46)	(61)	(56)	(9)
株主帰属利益／(損失)	4,219	3,864	9	(1,523)	(1,085)	(40)

パフォーマンス指標

平均有形株主資本利益率 ¹	10.9%	11.3%	(5.1%)	(5.4%)
平均割当有形株主資本(億ポンド)	390	350	90	130
平均株主資本利益率 ¹	9.0%	9.2%	(4.1%)	(4.1%)
平均割当株主資本(億ポンド)	470	420	90	130
期末割当株主資本(億ポンド)	480	450	70	110
収益に対する費用の比率	64%	65%	n/m	n/m
貸倒率(ベース・ポイント)	51	49	14	31
基本的1株当たり利益への寄与	25.7 ベンス	24.0 ベンス	(9.1 ベンス)	(6.7 ベンス)

資本管理

リスク調整後資産	3,120 億ポンド	3,270 億ポンド	470 億ポンド	750 億ポンド
レバレッジ・エクスポージャー	9,070 億ポンド	9,560 億ポンド	1,210 億ポンド	2,770 億ポンド

事業部門別収益

	2015年12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2014年12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率(%)
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	8,726	8,828	(1)
パークレイカード	4,927	4,356	13
アフリカ・バンキング	3,574	3,664	(2)
インベストメント・バンク	7,572	7,588	-
本社	(107)	242	
パークレイズ・コア	24,692	24,678	-
パークレイズ・ノンコア	(164)	1,050	
パークレイズ・グループ調整後収益合計	24,528	25,728	(5)

事業部門別税引前利益／(損失)

	2015年12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2014年12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率(%)
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	3,040	2,885	5
パークレイカード	1,634	1,339	22
アフリカ・バンキング	979	984	(1)
インベストメント・バンク	1,611	1,377	17
本社	(402)	97	
パークレイズ・コア	6,862	6,682	3
パークレイズ・ノンコア	(1,459)	(1,180)	(24)
パークレイズ・グループ調整後税引前利益	5,403	5,502	(2)

¹ パークレイズ・ノンコアの平均株主資本利益率と平均有形株主資本利益率は、当グループへの影響、すなわちパークレイズ・グループの利益率とパークレイズ・コアの利益率の差を示しています。これはノンコア部門の平均株主資本利益率と平均有形株主資本利益率を表すものではありません。

グループ最高責任者によるご挨拶

「2015 年度決算はパークレイズのコア部門の強さを示すとともに、妥当な期間内にしかるべき株主リターンを実現するにはノンコア部門の圧縮を引き続き進展させ、コストを管理することが重要であることを浮き彫りにしています。

パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、パークレイカード両部門は非常に好調な業績を上げることができました。アフリカ・バンキング部門も為替変動の悪影響を受けたにもかかわらず、好調に推移しました。また、インベストメント・バンク部門は 2014 年 5 月から取り組んできた戦略の効果が表れ、業績は前年比改善しました。

ノンコア部門のリスク調整後資産はさらに減少し、470 億ポンドとなりました。部門創設以降、半分以上削減したことになります。当グループが将来成功するにはこの良好な勢いを維持することが不可欠と考えています。グループの調整後営業費用は計画を 1 億ポンド近く下回りました。また、資本基盤の強化が一段と進み、CET1 比率は 11.4%に上昇し、レバレッジ比率も 4.5%に改善しました。

これらの全ては、パークレイズが根本的に正しい軌道を進んでおり、また、パークレイズのコア部門は非常に良好な業績を挙げていることを示すものです。パークレイズがそうなれる、また、なるべきである、優れた業績を上げるグループとなるためには、まだやるべきことがあり、また進捗をより加速できる領域があるのは言うまでもありません。従って、2016 年は良好な基盤に立ち、計画の実現を加速させていく年になるでしょう。」

グループ最高責任者 ジェス・ステイリー

損益計算書

損益計算書に関する記述は特に断りがない限り、調整後の数字に基づきます。

グループの業績

- 税引前利益は 2%減少し、54 億 300 万ポンドとなりました。アフリカ・バンキング(恒常通貨ベース 1)を含め、コア部門の全事業が改善したのを反映し、コア部門の税引前利益が 3%増加し、68 億 6,200 万ポンドとなったことで一部相殺されたものの、ノンコア部門の税引前損失が資産の持続的な圧縮の影響により 24%増加し、14 億 5,900 万ポンドとなったためです。
- 収益は 5%減少し、245 億 2,800 万ポンドとなりました。ノンコア部門の収益が 12 億 1,400 万ポンド減少し、1 億 6,400 万ポンドの純費用となったためです。コア部門の収益は 246 億 9,200 万ポンドと横ばいでした(2014 年:246 億 7,800 万ポンド)。
- 信用に関する減損費用は 2%減少し、21 億 1,400 万ポンドとなり、貸倒率は 47 ベーシス・ポイントと概ね横ばいでした(2014 年:46 ベーシス・ポイント)。
 - － 石油およびガス・セクターへの正味オンバランスシート・エクスポージャーは 44 億ポンド(2014 年:58 億ポンド)、同セクターに関連する偶発債務およびコミットメントは 138 億ポンド(2014 年:126 億ポンド)でした。減損費用は 1 億 600 万ポンドでした(2014 年:100 万ポンド)。グループの「優良」および「可」に分類される正味エクスポージャー合計は同セクターに対する正味信用リスク・エクスポージャー合計に対する比率で 97%でした(2014 年:99%)。
- 営業費用合計は 6%減少して、169 億 9,800 万ポンドとなりました。これは、ノンコア部門の資産の持続的な圧縮に加え、特にインベストメント・バンク、パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング(PCB)各部門における戦略的コスト・プログラムによる費用削減効果によるものです。
 - － 目標達成費用は 32%減少し、7 億 9,300 万ポンドとなりました。これは米国ウェルス事業の売却に関連する目標達成費用 8,200 万ポンドを含みます。
- 税引前利益の実効税率は 31.3%でした(2014 年:31.0%)。外国為替に関連するものを含めた進行中の調査および訴訟に係る非控除引当金繰入れ、英国顧客への補償に係る引当金繰入れなどの調整項目の影響を排除したことを主因として、法定税引前利益の実効税率を下回りました。
- 株主帰属利益は 26 億 9,600 万ポンドとなり(2014 年:27 億 7,900 万ポンド)、その結果、平均株主資本利益率は 4.9%(2014 年:5.1%)、平均有形株主資本利益率は 5.8%(2014 年:5.9%)となりました。
- 法定税引前利益は 20 億 7,300 万ポンドとなりました(2014 年:22 億 5,600 万ポンド)。これには、英国顧客への補償に係る追加引当金繰入れ 27 億 7,200 万ポンド(2014 年:11 億 1,000 万ポンド)、外国為替に関連するものを含めた進行中の調査および訴訟に係る追加引当金繰入れ 12 億 3,700 万ポンド(2014 年:12 億 5,000 万ポンド)、スペイン、ポルトガル、イタリア各事業の売却に係る損失 5 億 8,000 万ポンド(2014 年:4 億 4,600 万ポンド)、米国リーマン買収資産に係る利益 4 億 9,600 万ポンド(2014 年:4 億 6,100 万ポンド)、当グループ自身の信用度に関連する利益 4 億 3,000 万ポンド(2014 年:3,400 万ポンド)、確定退職給付負債の一部に係る評価益 4 億 2,900 万ポンド(2014 年:ゼロポンド)、売却中の事業に関連するのれんおよびその他資産の減損費用 9,600 万ポンド(2014 年:ゼロポンド)が含まれています。2014 年度の法定税引前利益には、教育・社会的住宅供給・地方自治体(ESHLA)ポートフォリオの評価方法の修正に関連する損失 9 億 3,500 万ポンド(2015 年:ゼロポンド)も含まれていました。
- 法定税引前利益 20 億 7,300 万ポンド(2014 年:22 億 5,600 万ポンド)に対する税金は 14 億 5,000 万ポンド(2014 年:14 億 1,100 万ポンド)で、実効税率は 69.9%(2014 年:62.5%)となりました。

コア部門の業績

- 税引前利益は 3%増加し、68 億 6,200 万ポンドとなりました。本社の税引前損失 4 億 200 万ポンド(2014 年:9,700 万ポンドの利益)により一部相殺されたものの、アフリカ・バンキング(恒常通貨ベース 1)を含め、コア部門の全事業で改善しました。
- 収益は 246 億 9,200 万ポンドと横ばいでした(2014 年:246 億 7,800 万ポンド)。
 - － バークレイカード部門の収益は 13%増加し、49 億 2,700 万ポンドとなりました。収益性を伴う資産拡大に注力し続けたことで、米国カード事業の収益を伸ばしたことを主に反映しています。
 - － インベストメント・バンク部門の収益は 75 億 7,200 万ポンド(2014 年:75 億 8,800 万ポンド)と、バンキングおよび市場全体で概ね横ばいでした。マクロ業務の収益が 4%改善しましたが、クレジットの 5%の減収と株式の 2%の減収により相殺されました。
 - － PCB 部門の収益は 1%減少し、87 億 2,600 万ポンドとなりました。米国ウェルス事業を除く PCB 部門の収益は前年度比で横ばいでした。コーポレート事業が残高の伸びと預金の利ざやの改善を受けて 5%の増収となったためです。
 - － アフリカ・バンキング部門の収益は 2%減少し、35 億 7,400 万ポンドとなりました。恒常通貨ベース¹の収益は、南アフリカのリテール・アンド・ビジネス・バンキング(RBB)事業およびコーポレート・バンキング事業、ウェルス、インベストメント・マネジメント事業、保険(WIMI)事業の好調な伸びを反映し、7%増加しました。
 - － PCB、バークレイカード、アフリカ・バンキング各部門の利息収入純額はバークレイカードおよびアフリカ・バンキングの利ざやの改善、PCB およびバークレイカードにおける取引量の増加により、5%増加し、120 億 2,400 万ポンドとなりました。純利ざやは 10 ベーシス・ポイント上昇し、4.18%となりました。
 - － 本社の収益は減少し、1 億 700 万ポンドの純費用となりました(2014 年:2 億 4,200 万ポンドの収益)。トレジャリー業務の純費用を反映しています。
- 信用に関する減損費用は 2%増加し、20 億 3,600 万ポンドとなりました。英国の良好な経済環境を背景に債務不履行率と費用が低下したことで PCB 部門の減損費用が 22%減少したことにより一部相殺されましたが、インベストメント・バンク部門で複数のシングルネームのエクスポージャーに関連する費用 5,500 万ポンドを計上したことと事業拡大や減損モデル手法の見直しを受けてバークレイカード部門の減損が 6%増加したことを反映しています。

¹ 恒常通貨ベースの数字は、南アフリカランド建の業績を 2015 年の平均為替レートで英ポンドに換算したものです。

グループ財務担当取締役のレビュー

- 営業費用合計は 2%減少し、157 億 9,900 万ポンドとなりました。主にインベストメント・バンク部門および PCB 部門における戦略的コスト・プログラムによる費用削減効果と目標達成費用の 6 億 9,300 万ポンドへの減少(2014 年:9 億 5,300 万ポンド)を反映しています。これは、パークレイカードの営業費用が事業拡大に向けた持続的な投資により 11%増加したことと本社における構造改革プログラムの実施に伴う費用の発生により一部相殺されました。
- 株主帰属利益は 9%増加し、42 億 1,900 万ポンドとなり、一方、平均割当株主資本はノンコア部門の資本の再分配に伴い 50 億ポンド増加し、470 億ポンドとなりました。その結果、コア部門の平均株主資本利益率は 9.0%(2014 年:9.2%)、平均有形株主資本利益率は 10.9%となりました(2014 年:11.3%)。

ノンコア部門の業績

- 税引前損失は以下を反映し、2 億 7,900 万ポンド増加し、14 億 5,900 万ポンドとなりました。
 - 資産および証券の圧縮、スペインおよびアラブ首長国連邦リテール事業の売却の影響を含む事業売却、ESHLA ポートフォリオに関連する公正価値損失 3 億 5,900 万ポンド(2014 年:1 億 5,600 万ポンド)(うち、1 億 5,600 万ポンドは英国債スワップ・スプレッドの拡大を受けて 2015 年度第 4 四半期に計上)などから、収益は 12 億 1,400 万ポンド減少し、1 億 6,400 万ポンドの純費用となりました。
 - 信用に関する減損費用は、欧州の債権回収の増加とスペイン事業の売却を反映し、7,800 万ポンドに改善しました(2014 年:1 億 6,800 万ポンド)。
 - 営業費用合計はスペインおよびアラブ首長国連邦リテール事業の売却を含む持続的な事業の圧縮、目標達成費用ならびに訴訟および特定行為に係る費用の減少を受け、8 億 1,200 万ポンド減少し、11 億 9,900 万ポンドとなりました。
- 平均割当株主資本が 40 億ポンド減少し、90 億ポンドとなったことから、ノンコア部門の平均株主資本利益率のマイナス影響は 4.1%となりました(2014 年:4.1%)。リスク調整後資産が 290 億ポンド減少して 470 億ポンドとなったことに伴い、期末割当株主資本は 40 億ポンド減少し、70 億ポンドとなりました。

資本、レバレッジ、貸借対照表

- リスク調整後資産が 3,580 億ポンドと 440 億ポンドもの大幅な減少となったことによって、CRD IV 完全施行ベースの CET1 資本比率は 11.4%に上昇しました(2014 年:10.3%)。
 - ノンコア部門のリスク調整後資産はスペイン事業の売却や旧来からの仕組み商品およびクレジット商品の圧縮により 290 億ポンド減少し、470 億ポンドとなりました。インベストメント・バンク部門は証券およびデリバティブの減少とリスク調整後資産の効率の改善を主な要因に 140 億ポンド減少し、1,080 億ポンドとなりました。
 - 調整項目 34 億ポンド(税引後)、配当金支払額および予定配当金 14 億ポンドを調整すると、CET1 資本は 7 億ポンド減少し、407 億ポンドとなりました。
- レバレッジ・エクスポージャーが 17%減少し、1 兆 280 億ポンドとなったことから、レバレッジ比率は 4.5%と大幅に上昇しました(2014 年:3.7%)。
 - 減少の主因は、リバース・レポ取引、デリバティブおよびトレーディング・ポートフォリオ資産の潜在的将来エクスポージャーを中心に、ノンコア部門の資産を 1,560 億ポンド減少し 1,210 億ポンドに圧縮したことです。コア部門のレバレッジ・エクスポージャーはトレーディング・ポートフォリオ資産、決済残高、デリバティブの潜在的将来エクスポージャーの減少を反映し、490 億ポンド減少し、9,070 億ポンドとなりました。
- 貸借対照表資産は 18%減少し、1 兆 1,200 億ポンドとなりました。
 - マッチド・ブック取引および貸借対照表のレバレッジ圧縮に伴い全体的に資金調達が増加したこと、レポおよびリバース・レポ取引は公正価値ベースで 590 億ポンド、償却原価ベースで 540 億ポンドと、それぞれ減少しました。
 - トレーディング・ポートフォリオ資産は 370 億ポンド減少し、770 億ポンドとなりました。貸借対照表のレバレッジ圧縮に伴う証券ポジションの減少とノンコア部門のポジション解消が主な要因です。
 - デリバティブ負債が 1,150 億ポンド減少して 3,240 億ポンドとなったことに見合う形で、デリバティブ資産は 1,120 億ポンド減少し、3,280 億ポンドとなりました。取引の純減と主要金利フォワード・カーブの上昇を受け、主に金利デリバティブと為替デリバティブが減少したことによるものです。
- 1 株当たりの純資産価額および正味有形資産価額はそれぞれ 324 ペンス(2014 年:335 ペンス)、275 ペンス(2014 年:285 ペンス)に減少しました。この減少は、主に損益計算上の利益への振替に加え、税引後で 31 億ポンドの調整項目、配当金支払い、ヘッジ目的で保有する金利スワップの公正価値の減少に伴うキャッシュフロー・ヘッジ剰余金の減少によるものです。

資金調達および流動性

- 当グループは内部および規制上の要件を上回る流動性を維持しました。余剰流動性は 1,450 億ポンドとなり(2014 年:1,490 億ポンド)、流動性カバレッジ比率(LCR)は 133%となりました(2014 年:124%)。これは 370 億ポンドの余剰に相当します(2014 年:300 億ポンド)。市場の資金調達環境に関わるリスクや当グループの流動性ポジションを考慮しつつ、内部および規制上のストレス要件に照らして十分な水準の流動性を維持していく方針です。
- ホールセール資金調達残高合計(レポ取引を除く)は 1,420 億ポンドでした(2014 年:1,710 億ポンド)。当グループは期限前償還控除後の純額で 90 億ポンドのターム資金調達を実施しました。調達のうち 40 億ポンドは持株会社であるパークレイズ・ピーエルシーが発行した公募および私募シニア無担保債でした。また、2015 年度第 4 四半期中にパークレイズ・ピーエルシーは 10 億ポンド相当のユーロ建て Tier2 証券を発行しました。パークレイズ・ピーエルシーが調達した資本と債務は全

グループ財務担当取締役のレビュー

てパークレイズ・ピーエルシーが発行する証券と同等の格付けを有する事業会社であるパークレイズ・バンク・ピーエルシーが発行する証券の引受けに充当しました。

その他の事項

- 英国顧客への補償に係る引当金 27 億 7,200 万ポンドの追加繰入れを計上しました(2014 年:11 億 1,000 万ポンド)。これは以下を含んでいます。
 - 将来の補償費用の最新の見積もりに基づく引当金 14 億 5,000 万ポンドの追加繰入れを含め、PPI に係る費用 22 億ポンド。この見積もりの見直しは 2015 年度下半期の請求件数の減少ペースが予想を下回ったことを受けたものです。また、これは、2018 年を請求の申請期限にするという金融行為監督機構の提案と、英国最高裁判所が 2014 年に Plevin と Paragon Personal Finance Ltd が争った裁判で下した判決を踏まえて提案されている、PPI に関連する請求の取り扱いに関する規則および指針を反映したものです。
 - 2005 年から 2012 年に行った特定の顧客を対象とする外国為替取引における過去のプライシング慣行に関連し、2015 年度第 3 四半期に繰入れた、補償引当金 2 億 9,000 万ポンド。
 - 2015 年度上半期に繰入れた、パッケージ預金口座に係る補償引当金 2 億 8,200 万ポンド。
- 外国為替に関連するものを含めた進行中の調査および訴訟に係る引当金 12 億 3,700 万ポンドの追加繰入れを行いました(2014 年:12 億 5,000 万ポンド)。これは、以下を含みます。
 - 外国為替電子取引に関する調査に関連し、2015 年 11 月にニューヨーク州金融サービス局と合意した 1 億ポンドの支払いを含め、2015 年度第 4 四半期に繰入れた、引当金 1 億 6,700 万ポンド
 - 2 件の住宅モーゲージ担保証券の請求に関連する全国信用組合管理局(National Credit Union Administration)との和解および特定の過去のベンチマーク設定に関連する訴訟の和解に関連し、2015 年度第 3 四半期に繰入れた引当金 2 億 7,000 万ポンド。
 - 主に外国為替に関連する進行中の調査および訴訟に係る、2015 年度上半期の引当金 8 億ポンドの追加繰入れ。業界全体を対象とする外国為替市場における特定のセールスおよびトレーディングの実態に関する調査ならびに業界全体を対象とする米ドルの ISDAFIX ベンチマーク設定に関する調査に関連し、2015 年度第 2 四半期に一部の当局と 16 億 800 万ポンドを支払うことで和解に至りました。
- スペイン、ポルトガル、イタリア各事業の売却に係る損失 5 億 8,000 万ポンド(2014 年:4 億 4,600 万ポンド)は、先に発表した、2016 年度第 2 四半期に完了する予定のイタリアのリテール・バンキング事業支店網の売却に関し 2015 年度第 4 四半期に計上された損失 2 億 6,100 万ポンドを含みます。これは先に発表した、2016 年度第 1 四半期に完了する予定のポルトガルのリテール事業の売却に関し 2015 年度第 3 四半期における 2 億 100 万ポンドの損失および 2015 年度上半期に認識されたスペイン事業の売却に係る 1 億 1,800 万ポンドの損失とは別のものです。
- 米国リーマン買収資産に係る利益 4 億 9,600 万ポンドを 2015 年度第 2 四半期に認識しました(2014 年:4 億 6,100 万ポンド)。パークレイズは 2008 年 9 月の大半のリーマン・ブラザーズ資産の取得に関連し、当事者と係争中だった訴訟を解決するため、リーマン・ブラザーズ・インクの証券投資家保護法管財人と和解に達しました。
- 当グループ自身の信用度に関連する利益 4 億 3,000 万ポンドを当年度に計上しました(2014 年:3,400 万ポンド)。
- 確定退職給付負債の要素の評価で使用していた小売価格指数を、法令規定に準じて長期消費者物価指数に変更したことに伴い、2015 年度上半期に 4 億 2,900 万ポンドの利益を認識しました(2014 年:ゼロポンド)。
- 売却中の事業に関連するのれんおよびその他資産の減損費用 9,600 万ポンド(2014 年:ゼロポンド)。
- 2014 年度には、LIBOR を基準とするディスカウントに基づく資産評価から、外部機関による情報と外部機関が資産の評価を行う際に考慮する要因を組み入れた評価方法への変更に伴い、ESHLA ポートフォリオに関連し、9 億 3,500 万ポンド(2015 年:ゼロポンド)の公正価値の修正を認識しました。

配当

- 2015 年度の最終配当として 1 株当たり 3.5 ペンスを 2016 年 4 月 5 日にお支払いします。年間の配当金は合計で 1 株当たり 6.5 ペンスになります。

第 1 四半期の見通し

- インベストメント・バンク部門の 1 月と 2 月の収益は概ね前年並みでしたが、足元の市場環境や 2015 年 3 月がとりわけ好調だったことを踏まえると、2016 年度第 1 四半期全体ではさほど好調な業績は見込みにくいと考えています。
- ESHLA ポートフォリオの公正価値評価のための英国債スワップのспредが引き続き拡大している影響を受け、2016 年度第 1 四半期のノンコア部門の収益は、更に悪化すると予想されます。

グループ財務担当取締役、トゥーシャー・モーザリア

事業部門別業績

パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング

損益計算書関連の情報	2015年12月31日に	2014年12月31日に	増減率(%)
	終了した年度 (百万ポンド)	終了した年度 (百万ポンド)	
利息収入純額	6,438	6,298	2
手数料およびその他収入純額	2,288	2,530	(10)
収益合計	8,726	8,828	(1)
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(378)	(482)	22
営業収益純額	8,348	8,346	-
営業費用	(4,774)	(4,951)	4
英国銀行税	(93)	(70)	(33)
訴訟および特定行為	(109)	(54)	
目標達成費用	(292)	(400)	27
営業費用合計	(5,268)	(5,475)	4
その他の(費用)/収益純額	(40)	14	
税引前利益	3,040	2,885	5
株主帰属利益	2,179	2,058	6

貸借対照表関連の情報	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在
	(億ポンド)	(億ポンド)
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	2,184	2,170
資産合計	2,872	2,850
顧客預り金	3,054	2,992
リスク調整後資産	1,204	1,202

パフォーマンス指標	2015年12月31日に	2014年12月31日に
	終了した年度	終了した年度
平均有形株主資本利益率	16.2%	15.8%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	136	131
平均株主資本利益率	12.1%	11.9%
平均割当株主資本(億ポンド)	182	175
収益に対する費用の比率	60%	62%
貸倒率(ベース・ポイント)	17	21
純利ざや	2.99%	3.00%

収益合計内訳	2015年12月31日に	2014年12月31日に	増減率(%)
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	
パーソナル	4,054	4,159	(3)
コーポレート	3,754	3,592	5
ウェルス	918	1,077	(15)
収益合計	8,726	8,828	(1)

顧客に対する貸付金(償却原価ベース)内訳	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在
	(億ポンド)	(億ポンド)
パーソナル	1,370	1,368
コーポレート	679	651
ウェルス	135	151
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)合計	2,184	2,170

顧客預り金内訳	2015年12月31日現在	2014年12月31日現在
	(億ポンド)	(億ポンド)
パーソナル	1,513	1,458
コーポレート	1,244	1,222
ウェルス	297	312
顧客預り金合計	3,054	2,992

事業部門別業績

2015年度と2014年度の比較

- 税引前利益は30億4,000万ポンドと5%増加しました。営業費用の持続的な減少と英国の良好な経済環境を受けた減損費用の減少を反映しています。営業費用の減少は支店網の再編と自動化促進のための技術改善を含む戦略的コスト・プログラムによるものです。コーポレート事業は非常に好調に推移し、貸付金と資金管理が共に伸びたことで収益は5%増加しました。
- PCBは米国ウェルス事業の顧客への補償および同事業の売却の影響を大きく受けました。米国ウェルス事業を除いた税引前利益は12%改善し、32億7,700万ポンドとなりました。
- 収益合計は1%減少し、87億2,600万ポンドとなりました。米国ウェルス事業を除いた収益は横ばいでした。
 - パーソナル事業の収益は預金利ざやの改善と残高の増加により一部相殺されたものの、手数料収入の減少とモーゲージの利ざやが圧縮されたことから3%減少し、40億5,400万ポンドとなりました。
 - コーポレート事業の収益は貸出業務の利ざやの縮小により一部相殺されたものの、貸付金と預金の残高がともに増加したことと預金利ざやの改善により、5%増加し、37億5,400万ポンドとなりました。
 - ウェルス事業の収益は、主に米国ウェルス事業の顧客への補償および同事業の売却の影響により15%減少し、9億1,800万ポンドとなりました。米国ウェルス事業を除いた収益は2%減少しました。
 - 利息収入純額はコーポレート残高の増加と2014年6月に行った当座預金に関する処理方法の変更の影響により、2%増加し、64億3,800万ポンドとなりました。
 - 純利ざやは2.99%と概ね横ばいでした(2014年:3.00%)。モーゲージの利ざやの減少とコーポレート貸出利ざやの低下は、コーポレートおよびパーソナル預金の利ざやの上昇と当座預金に関する処理方法の変更の影響により一部相殺されました。
 - 手数料およびその他収入純額は、主に当座預金に関する処理方法の変更と米国の顧客向け補償の影響により10%減少し、22億8,800万ポンドとなりました。
- 信用に関する減損費用は英国の良好な経済環境を背景に全事業で債務不履行率が低下し、費用が減少したことにより、22%改善し3億7,800万ポンドとなりました。貸倒率は4ベース・ポイント低下し、17ベース・ポイントとなりました。
- 営業費用合計は4%減少し、52億6,800万ポンドとなりました。訴訟および特定行為に係る費用の増加により一部相殺されたものの、支店網の再編と技術改善に関連する戦略的コスト・プログラムによる費用削減効果および目標達成費用の減少を反映しています。
- 顧客に対する貸付金はコーポレート貸付金が伸びたことから1%増加し、2,184億ポンドとなりました。
- 資産合計は顧客に対する貸付金が伸びたことから1%増加し、2,872億ポンドとなりました。
- 顧客預り金は主にパーソナル、コーポレート両事業の伸びたことから2%増加し、3,054億ポンドとなりました。
- リスク調整後資産は1,204億ポンドと概ね横ばいでした(2014年:1,202億ポンド)。

事業部門別業績

インベストメント・バンク	2015年12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2014年12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率(%)
損益計算書関連の情報			
利息収入純額	588	647	(9)
トレーディング収益純額	3,859	3,735	3
手数料およびその他収入純額	3,125	3,206	(3)
収益合計	7,572	7,588	-
信用に関する減損(費用)／戻入およびその他の引当金繰入額	(55)	14	
営業収益純額	7,517	7,602	(1)
営業費用	(5,362)	(5,504)	3
英国銀行税	(203)	(218)	7
訴訟および特定行為	(107)	(129)	17
目標達成費用	(234)	(374)	37
営業費用合計	(5,906)	(6,225)	5
税引前利益	1,611	1,377	17
株主帰属利益	804	397	
貸借対照表関連の情報			
	2015年12月31日現在 (億ポンド)	2014年12月31日現在 (億ポンド)	
銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース) ¹	922	1,063	
トレーディング・ポートフォリオ資産	651	948	
デリバティブ金融資産	1,143	1,526	
デリバティブ金融負債	1,222	1,606	
リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付 ²	255	643	
公正価値で測定すると指定された金融資産 ²	481	89	
資産合計	3,759	4,557	
リスク調整後資産	1,083	1,224	
パフォーマンス指標			
	2015年12月31日に 終了した年度	2014年12月31日に 終了した年度	
平均有形株主資本利益率	6.0%	2.8%	
平均割当有形株主資本(億ポンド)	139	146	
平均株主資本利益率	5.6%	2.7%	
平均割当株主資本(億ポンド)	148	154	
収益に対する費用の比率	78%	82%	
収益合計内訳			
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	増減率(%)
インベストメント・バンキング手数料	2,093	2,111	(1)
貸付	436	417	5
バンキング	2,529	2,528	-
クレジット	995	1,044	(5)
株式	2,001	2,046	(2)
マクロ	2,034	1,950	4
市場	5,030	5,040	-
バンキングおよび市場	7,559	7,568	-
その他	13	20	(35)
収益合計	7,572	7,588	-

1 2015年12月31日現在の貸付金は、顧客に対する貸付金748億ポンド(2014年:864億ポンド)(うち、決済残高186億ポンド(2014年:258億ポンド)および現金担保248億ポンド(2014年:322億ポンド)を含む)、銀行に対する貸付金174億ポンド(2014年:199億ポンド)(うち、決済残高16億ポンド(2014年:27億ポンド)および現金担保57億ポンド(2014年:69億ポンド)を含む)を含みます。

2 2015年に特定の事業における新規リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付は、ポートフォリオのリスクおよびパフォーマンスの管理のあり方により的確に合致させるために公正価値で測定する金融資産に指定されました。公正価値で測定すると指定された金融資産には、公正価値で測定すると指定されたリバース・レポ取引425億ポンド(2014年:34億ポンド)が含まれます。

事業部門別業績

2015年度と2014年度の比較

- 税引前利益は17%増加し、16億1,100万ポンドとなりました。リスク調整後資産は減少したものの、収益は横ばいでした。厳しい市場環境の中、自国市場である英国と米国に注力し、既存の強みを生かして事業は進展し続けました。コスト効率の改善と目標達成費用が削減したことによって、費用は減少しました。
- 収益合計は英ポンドに対する米ドル(平均)の上昇の影響を含め、75億7,200万ポンドと概ね横ばいでした(2014年:75億8,800万ポンド)。
 - バンキング業務の収益は25億2,900万ポンドと横ばいでした(2014年:25億2,800万ポンド)。インベストメント・バンキング手数料収入は20億9,300万ポンドと1%減少しました。財務アドバイザーおよび債券引受の手数料の増加により一部相殺されたものの、株式引受手数料が減少したためです。貸付収益は公正価値ヘッジの損失の減少を受けて4億3,600万ポンド(2014年:4億1,700万ポンド)に増加しました。
 - 市場業務の収益は50億3,000万ポンドと概ね横ばいでした(2014年:50億4,000万ポンド)。
 - クレジットの収益は当該資産クラスにおける戦略的再配置の加速に伴う証券化商品の減収とディストレス・クレジットの減収を受け、5%減少し、9億9,500万ポンドとなりました。これは、顧客中心のクレジットフロー取引による増収により一部相殺されました。
 - 株式の収益は2%減少し20億100万ポンドとなりました。現物株の増収によって一部相殺されたものの、欧州・中東・アフリカ(EMEA)における株式デリバティブの顧客取引活動の減少を反映しています。
 - マクロの収益は市場ボラティリティの上昇と顧客取引活動の拡大を背景に金利および為替商品の増収を反映し、4%増加し、20億3,400万ポンドとなりました。
- 複数のシングルネームのエクスポージャーに関連し、信用に関する減損費用5,500万ポンドを計上しました(2014年:1,400万ポンドの戻入れ)。
- 営業費用合計は5%減少し、59億600万ポンドとなりました。人件費が5%減少し34億2,300万ポンドとなったことと目標達成費用の減少を反映しています。英ポンドに対する米ドル(平均)の上昇により一部相殺されたものの、事業の再編、事務の合理化、不動産の合理化を含む戦略的コスト・プログラムにより、費用のさらなる削減を実現しました。
- デリバティブ金融商品資産および負債は取引の純減と主要金利フォワード・カーブの上昇により、それぞれ、25%減の1,143億ポンドおよび24%減の1,222億ポンドとなりました。
- トレーディング・ポートフォリオ資産は、主に貸借対照表のレバレッジ圧縮に伴う証券ポジションが減少したことにより31%減少し、651億ポンドとなりました。
- 資産合計はデリバティブ金融商品資産、トレーディング・ポートフォリオ資産、銀行および顧客に対する貸付における決済残高および現金担保の減少によって、18%減少し、3,759億ポンドとなりました。
- リスク調整後資産は、主に証券およびデリバティブの減少とリスク調整後資産の効率の改善により12%減少し、1,083億ポンドとなりました。

事業部門別業績

本社

損益計算書関連の情報

	2015年12月31日に2014年12月31日に	
	終了した年度 (百万ポンド)	終了した年度 (百万ポンド)
営業(費用)／収益純額	(107)	242
営業費用	(246)	(57)
英国銀行税	(8)	(9)
訴訟および特定行為	(14)	(66)
目標達成費用	(32)	(10)
営業費用合計	(300)	(142)
その他の収益／(費用)純額	5	(3)
税引前(損失)／利益	(402)	97
株主帰属(損失)／利益	(202)	112

貸借対照表関連の情報

	2015年12月31日現在 2014年12月31日現在	
	(億ポンド)	(億ポンド)
資産合計	564	491
リスク調整後資産	77	56

2015年度と2014年度の比較

- 4億200万ポンドの税引前損失(2014年:9,700万ポンドの利益)は、主にトレジャリー業務と構造改革プログラムの実施に伴う費用によります。
- 営業収益純額は、主にトレジャリー業務による純費用と、2014年にはグループ子会社の再編に伴う、外国為替の回収純益を含む一過性の利益があったことから減少し、1億700万ポンドの費用となりました(2014年:2億4,200万ポンドの収益)。
- 営業費用合計は、訴訟および特定行為にかかる費用の減少によって部分的に相殺されましたが、主に構造改革プログラムの実施に関連する費用と目標達成費用が増加したことから、1億5,800万ポンド増加し、3億ポンドになりました。
- 資産合計は集中化して保有した流動性バッファの増加に伴い73億ポンド増加し、564億ポンドになりました。

事業部門別業績

パークレイズ・ノンコア 損益計算書関連の情報	2015年12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2014年12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率(%)
利息収入純額	249	214	16
トレーディング収益純額	(805)	120	
手数料およびその他収入純額	765	1,026	(25)
収益合計	209	1,360	(85)
保険契約に基づく保険金および給付金純額	(373)	(310)	(20)
保険金控除後の収益合計	(164)	1,050	
信用に関する減損費用およびその他の引当金 繰入額	(78)	(168)	54
営業収益純額	(242)	882	
営業費用	(873)	(1,510)	42
英国銀行税	(78)	(91)	14
訴訟および特定行為	(148)	(198)	25
目標達成費用	(100)	(212)	53
営業費用合計	(1,199)	(2,011)	40
その他の費用純額	(18)	(51)	65
税引前損失	(1,459)	(1,180)	(24)
株主帰属損失	(1,523)	(1,085)	(40)

貸借対照表関連の情報	2015年12月31日現在 (億ポンド)	2014年12月31日現在 (億ポンド)
銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース) ¹	459	639
デリバティブ金融資産	2,103	2,854
デリバティブ金融負債	1,987	2,771
リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付 ²	24	493
公正価値で測定すると指定された金融資産 ²	201	222
資産合計	3,031	4,715
顧客預り金	149	216
リスク調整後資産	466	753
レバレッジ・エクスポージャー	1,213	2,775

パフォーマンス指標	2015年12月31日に 終了した年度	2014年12月31日に 終了した年度
平均有形株主資本利益率の影響 ³	(5.1%)	(5.4%)
平均割当有形株主資本(億ポンド)	89	132
平均株主資本利益率 ³	(4.1%)	(4.1%)
平均割当株主資本(億ポンド)	90	134
期末割当株主資本(億ポンド)	72	110

保険金控除後の収益合計の内訳	(百万ポンド)	(百万ポンド)	増減率(%)
事業部門	613	1,101	(44)
証券および貸付金	(481)	117	
デリバティブ	(296)	(168)	(76)
保険金控除後の収益合計	(164)	1,050	

- 2015年12月31日現在の貸付金は、顧客に対する貸付金352億ポンド(2014年:516億ポンド)(うち、決済残高2億ポンド(2014年:16億ポンド)および現金担保190億ポンド(2014年:221億ポンド)を含む)、銀行に対する貸付金106億ポンド(2014年:123億ポンド)(うち、決済残高ゼロポンド(2014年:3億ポンド)および現金担保101億ポンド(2014年:113億ポンド)を含む)を含みます。
- 2015年に特定の事業における新規リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付はポートフォリオのリスクおよびパフォーマンスの管理のあり方により的確に合致させるために公正価値で測定する金融資産に指定されました。公正価値で測定すると指定された金融資産には、公正価値で測定すると指定されたりリバース・レポ取引14億ポンド(2014年:10億ポンド)が含まれます。
- パークレイズ・ノンコア部門の平均株主資本利益率と平均有形株主資本利益率はパークレイズ・グループへの影響を示しています。これはノンコア部門の平均株主資本利益率と平均有形株主資本利益率を表すものではありません。

事業部門別業績

2015年度と2014年度の比較

- 事業の撤退、証券および貸付金、デリバティブ資産処分を継続的に進めたことによって、税引前損失は 24%増加し、14 億 5,900 万ポンドとなりました。デリバティブの 100 億ポンドの減少、証券および貸付金の 90 億ポンドの減少、スペイン事業および英国有担保貸付事業の売却の完了に伴う事業の圧縮を含め、リスク調整後資産は 290 億ポンド減少し、470 億ポンドとなりました。先に発表したポルトガルおよびイタリアのリテール事業の売却が 2016 年度上半期に完了すると、リスク調整後資産はさらに 25 億ポンド減少する見通しです。
- 保険金控除後の収益合計は減少し、1 億 6,400 万ポンドの純損失となりました(2014 年:10 億 5,000 万ポンドの収益)。
 - 事業収益はスペイン事業の売却および旧来からのポートフォリオ資産の売却および圧縮の影響を反映し、44%減少して 6 億 1,300 万ポンドとなりました。
 - 証券および貸付金の収益は減少し、4 億 8,100 万ポンドの純損失となりました(2014 年:1 億 1,700 万ポンドの収益)。ESHLA ポートフォリオの公正価値損失および資金調達コスト、証券の積極的な圧縮、過去のインベストメント・バンク事業からの撤退、2014 年度に計上したアラブ首長国連邦(UAE)のリテール・バンキング・ポートフォリオ売却益が当年度は発生しなかったことが主因です。ESHLA ポートフォリオの公正価値損失は 3 億 5,900 万ポンド(2014 年:1 億 5,600 万ポンド)で、うち 1 億 5,600 万ポンドは英国債スワップ・スプレッドの拡大により、2015 年度第 4 四半期に計上しました。
 - デリバティブ収益は 76%減少し、2 億 9,600 万ポンドの損失となりました。これはポートフォリオの積極的な圧縮や資金調達コストを反映しています。
- 信用に関する減損費用は 54%改善して 7,800 万ポンドとなりました。これは、欧州の債権回収の増加とスペイン事業の売却を反映しています。
- 営業費用合計は 40%改善して 11 億 9,900 万ポンドとなりました。これは、スペイン事業、アラブ首長国連邦(UAE)リテール事業、コモディティ事業および複数の自己勘定投資事業の売却に伴う費用削減効果ならびに目標達成費用、訴訟および特定行為に係る費用の減少を反映しています。
- 銀行および顧客に対する貸付金は 28%減少し、459 億ポンドとなりました。これは、先に発表したポルトガルおよびイタリア事業の売却に関連する貸付金 55 億ポンドを売却目的で保有する資産へ再分類したことと、過去のインベストメント・バンク資産の圧縮および撤退を反映しています。
- デリバティブ金融商品資産および負債は、主に取引の減少により、それぞれ 26%減の 2,103 億ポンド、28%減の 1,987 億ポンドとなりました。
- 資産合計はリバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付ならびにデリバティブ金融商品資産の減少により、36%減少し、3,031 億ポンドとなりました。
- レバレッジ・エクスポージャーはリバース・レポ取引、デリバティブの潜在的将来エクスポージャー、トレーディング・ポートフォリオ資産を中心に 1,562 億ポンド減少し、1,213 億ポンドとなりました。
- 主にスペイン事業の売却、旧来からの仕組み商品とクレジット商品の積極的な圧縮、デリバティブ取引の解消により、リスク調整後資産は 287 億ポンド減の 466 億ポンド、期末株主資本は 38 億ポンド減の 72 億ポンドとなりました。

四半期業績の要約

パークレイズ・グループ四半期業績	2015年度	2015年度	2015年度	2015年度	2014年度	2014年度	2014年度	2014年度
	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
調整後ベース								
保険金控除後の収益合計	5,438	6,108	6,552	6,430	6,018	6,378	6,682	6,650
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(646)	(495)	(496)	(477)	(573)	(509)	(538)	(548)
営業収益純額	4,792	5,613	6,056	5,953	5,445	5,869	6,144	6,102
営業費用	(3,697)	(3,842)	(3,897)	(3,915)	(3,942)	(3,879)	(4,042)	(4,130)
英国銀行税	(476)	-	-	-	(462)	-	-	-
訴訟および特定行為	(106)	(138)	(77)	(57)	(140)	(98)	(146)	(65)
目標達成費用	(254)	(223)	(196)	(120)	(339)	(332)	(254)	(240)
営業費用合計	(4,533)	(4,203)	(4,170)	(4,092)	(4,883)	(4,309)	(4,442)	(4,435)
その他の(損失)/収益純額	(12)	17	(37)	19	1	30	(46)	26
調整後税引前利益	247	1,427	1,849	1,880	563	1,590	1,656	1,693
調整項目								
英国顧客への補償に係る引当金	(1,450)	(290)	(850)	(182)	(200)	(10)	(900)	-
外国為替に関連するものを含めた進行中の調査および訴訟に係る引当金	(167)	(270)	-	(800)	(750)	(500)	-	-
スペインおよびポルトガル事業の売却に係る損失	(261)	(201)	-	(118)	(82)	(364)	-	-
米国リーマン買収資産に係る利益	-	-	496	-	-	461	-	-
当グループ自身の信用度に関連する利益	(175)	195	282	128	(62)	44	(67)	119
確定退職給付負債の一部に係る評価益	-	-	-	429	-	-	-	-
売却事業に係るのれんおよびその他資産の減損	(96)	-	-	-	-	-	-	-
ESHLA ポートフォリオに係る評価の見直し	-	-	-	-	(935)	-	-	-
法定税引前(損失)/利益	(1,902)	861	1,777	1,337	(1,466)	1,221	689	1,812
税金(費用)/還付	(236)	(208)	(394)	(612)	85	(601)	(298)	(597)
法定税引後(損失)/利益	(2,138)	653	1,383	725	(1,381)	620	391	1,215
以下に帰属するもの:								
親会社の普通株主	(2,422)	417	1,146	465	(1,679)	379	161	965
その他の株主持分	107	79	79	80	80	80	41	49
非支配持分	177	157	158	180	218	161	189	201
貸借対照表関連の情報								
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
資産合計	11,200	12,365	11,967	14,164	13,579	13,657	13,149	13,621
リスク調整後資産	3,584	3,819	3,767	3,959	4,019	4,129	4,111	4,363
調整後パフォーマンス指標								
平均有形株主資本利益率	(1.9%)	6.7%	9.1%	9.0%	1.7%	7.1%	7.5%	7.6%
平均有形株主資本(億ポンド)	480	479	477	487	489	476	475	472
平均株主資本利益率	(1.6%)	5.7%	7.8%	7.7%	1.5%	6.1%	6.4%	6.5%
平均株主資本(億ポンド)	562	561	560	570	571	556	553	548
収益に対する費用の比率	83%	69%	64%	64%	81%	68%	66%	67%
貸倒率(ベース・ポイント)	58	40	41	37	48	42	44	45
基本的1株当たり利益/(損失)	(1.3ペンス)	4.8ペンス	6.5ペンス	6.6ペンス	1.3ペンス	5.2ペンス	5.4ペンス	5.5ペンス
法定パフォーマンス指標								
平均有形株主資本利益率	(20.1%)	3.6%	9.8%	4.0%	(13.8%)	3.4%	1.4%	8.4%
平均有形株主資本(億ポンド)	478	476	472	481	483	468	467	464
平均株主資本利益率	(17.1%)	3.1%	8.4%	3.4%	(11.8%)	2.9%	1.2%	7.2%
平均株主資本(億ポンド)	560	558	555	563	564	548	545	540
収益に対する費用の比率	119%	76%	68%	71%	116%	70%	81%	66%
基本的1株当たり利益/(損失)	(14.4ペンス)	2.6ペンス	7.0ペンス	2.9ペンス	(10.2ペンス)	2.4ペンス	1.0ペンス	6.0ペンス

四半期業績の要約

パークレイズ・コア	2015年度	2015年度	2015年度	2015年度	2014年度	2014年度	2014年度	2014年度
	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期
損益計算書関連の情報	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
保険金控除後の収益合計	5,650	6,102	6,520	6,420	5,996	6,008	6,397	6,277
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(630)	(470)	(488)	(448)	(571)	(492)	(456)	(481)
営業収益純額	5,020	5,632	6,032	5,972	5,425	5,516	5,941	5,796
営業費用	(3,493)	(3,626)	(3,663)	(3,696)	(3,614)	(3,557)	(3,602)	(3,710)
英国銀行税	(398)	-	-	-	(371)	-	-	-
訴訟および特定行為	(77)	(64)	(41)	(48)	(56)	(16)	(136)	(43)
目標達成費用	(199)	(201)	(184)	(109)	(298)	(202)	(237)	(216)
営業費用合計	(4,167)	(3,891)	(3,888)	(3,853)	(4,339)	(3,775)	(3,975)	(3,969)
その他の収益／(費用)純額	4	23	(39)	17	9	6	27	20
税引前利益	857	1,764	2,105	2,136	1,095	1,747	1,993	1,847
株主帰属利益	547	1,115	1,273	1,284	638	1,002	1,171	1,053
貸借対照表関連の情報	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
資産合計	8,169	8,911	8,585	9,496	8,865	8,993	8,463	8,637
リスク調整後資産	3,118	3,270	3,201	3,311	3,266	3,319	3,236	3,303
パフォーマンス指標								
平均有形株主資本利益率	5.7%	11.4%	13.3%	13.5%	7.0%	11.5%	13.8%	13.2%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	400	396	386	385	370	352	340	322
平均株主資本利益率	4.7%	9.5%	11.0%	11.1%	5.8%	9.5%	11.3%	10.7%
平均割当株主資本(億ポンド)	481	477	467	467	450	430	416	396
収益に対する費用の比率	74%	64%	60%	60%	72%	63%	62%	63%
貸倒率(ペーシス・ポイント)	63	43	45	41	55	46	44	60
基本的1株当たり利益への寄与	3.4 ペン	6.8 ペン	7.7 ペン	7.8 ペン	4.0 ペン	6.2 ペン	7.2 ペン	6.5 ペン
パークレイズ・ノンコア								
損益計算書関連の情報	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
事業部門	139	199	153	122	228	327	245	301
証券および貸付金	(228)	(138)	(42)	(73)	(142)	106	66	87
デリバティブ	(123)	(55)	(79)	(39)	(64)	(63)	(26)	(15)
保険金控除後の収益合計	(212)	6	32	10	22	370	285	373
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(16)	(25)	(8)	(29)	(2)	(17)	(82)	(67)
営業(費用)／収益純額	(228)	(19)	24	(19)	20	353	203	306
営業費用	(204)	(216)	(234)	(219)	(329)	(321)	(441)	(419)
英国銀行税	(78)	-	-	-	(91)	-	-	-
訴訟および特定行為	(29)	(74)	(36)	(9)	(83)	(82)	(10)	(23)
目標達成費用	(55)	(22)	(12)	(11)	(41)	(130)	(17)	(24)
営業費用合計	(366)	(312)	(282)	(239)	(544)	(533)	(468)	(466)
その他の(損失)／収益純額	(16)	(6)	2	2	(8)	23	(72)	6
税引前損失	(610)	(337)	(256)	(256)	(532)	(157)	(337)	(154)
株主帰属損失	(793)	(328)	(203)	(199)	(448)	(173)	(294)	(171)
貸借対照表関連の情報	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	459	509	539	656	639	645	755	834
デリバティブ金融資産	2,103	2,395	2,209	3,019	2,854	2,496	2,270	2,315
デリバティブ金融負債	1,987	2,310	2,136	2,956	2,771	2,400	2,150	2,209
リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付	24	71	156	428	493	739	868	983
公正価値で測定すると指定された金融資産	201	198	195	217	222	219	215	222
資産合計	3,031	3,454	3,382	4,668	4,715	4,665	4,686	4,984
資産合計	149	179	196	205	216	222	286	307
リスク調整後資産	466	548	566	648	753	810	875	1,060
パフォーマンス指標								
平均有形株主資本利益率 ¹	(7.6%)	(4.7%)	(4.2%)	(4.5%)	(5.3%)	(4.4%)	(6.3%)	(5.6%)
平均割当有形株主資本(億ポンド)	80	83	91	102	119	124	135	150
平均株主資本利益率 ¹	(6.3%)	(3.8%)	(3.2%)	(3.4%)	(4.3%)	(3.4%)	(4.9%)	(4.2%)
平均割当株主資本(億ポンド)	81	84	93	103	121	126	137	152
期末割当株主資本(億ポンド)	72	85	83	97	110	121	127	149
基本的1株当たり利益への寄与	(4.7 ペン)	(2.0 ペン)	(1.2 ペン)	(1.2 ペン)	(2.7 ペン)	(1.0 ペン)	(1.8 ペン)	(1.0 ペン)

¹ パークレイズ・ノンコアの平均株主資本利益率と平均有形株主資本利益率は、当グループへの影響を示しています。これはノンコア部門の平均株主資本利益率と平均有形株主資本利益率を表すものではありません。

コア事業部門別四半期業績

パーソナル・アンド・コーポレート・ バンキング (PCB)

損益計算書関連の情報

	2015年度 第4四半期	2015年度 第3四半期	2015年度 第2四半期	2015年度 第1四半期	2014年度 第4四半期	2014年度 第3四半期	2014年度 第2四半期	2014年度 第1四半期
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
収益合計	2,162	2,180	2,210	2,174	2,231	2,236	2,188	2,173
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(118)	(82)	(99)	(79)	(123)	(129)	(95)	(135)
営業収益純額	2,044	2,098	2,111	2,095	2,108	2,107	2,093	2,038
営業費用	(1,123)	(1,185)	(1,232)	(1,234)	(1,204)	(1,222)	(1,247)	(1,278)
英国銀行税	(93)	-	-	-	(70)	-	-	-
訴訟および特定行為	(78)	(6)	(23)	(2)	(15)	(10)	(9)	(20)
目標達成費用	(88)	(65)	(97)	(42)	(195)	(90)	(58)	(57)
営業費用合計	(1,382)	(1,256)	(1,352)	(1,278)	(1,484)	(1,322)	(1,314)	(1,355)
その他の(損失)/収益純額	(5)	13	(50)	2	4	4	1	5
税引前利益	657	855	709	819	628	789	780	688
株主帰属利益	431	646	500	602	441	578	559	480

貸借対照表関連の情報

	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	2,184	2,208	2,175	2,190	2,170	2,157	2,167	2,155
資産合計	2,872	2,940	2,899	2,941	2,850	2,757	2,681	2,715
資産合計	3,054	3,025	2,985	2,981	2,992	2,959	2,983	2,972
リスク調整後資産	1,204	1,222	1,206	1,225	1,202	1,200	1,179	1,161

パフォーマンス指標

平均有形株主資本利益率	12.8%	19.2%	14.9%	17.8%	13.3%	17.8%	17.5%	14.7%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	137	136	136	136	134	131	129	131
平均株主資本利益率	9.5%	14.4%	11.2%	13.4%	10.0%	13.4%	13.1%	11.1%
平均割当株主資本(億ポンド)	184	181	181	181	178	175	172	174
収益に対する費用の比率	64%	58%	61%	59%	67%	59%	60%	62%
貸倒率(ベース・ポイント)	21	14	18	14	22	23	17	25
純利ざや	3.00%	2.97%	2.99%	3.02%	3.02%	3.05%	2.93%	2.99%

収益合計内訳

	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
パーソナル	1,022	1,018	1,005	1,009	1,045	1,061	1,027	1,026
コーポレート	942	935	970	907	922	902	889	879
ウェルス	198	227	235	258	264	273	272	268
収益合計	2,162	2,180	2,210	2,174	2,231	2,236	2,188	2,173

顧客に対する貸付金(償却原価ベース)内訳

	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
パーソナル	1,370	1,377	1,378	1,375	1,368	1,365	1,359	1,349
コーポレート	679	690	660	665	651	631	648	642
ウェルス	135	141	137	150	151	161	160	164
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)合計	2,184	2,208	2,175	2,190	2,170	2,157	2,167	2,155

顧客預り金内訳

パーソナル	1,513	1,487	1,463	1,453	1,458	1,430	1,416	1,413
コーポレート	1,244	1,232	1,203	1,209	1,222	1,207	1,237	1,209
ウェルス	297	306	319	319	312	322	330	350
顧客預り金合計	3,054	3,025	2,985	2,981	2,992	2,959	2,983	2,972

コア事業部門別四半期業績

パークレイカード	2015年度 第4四半期	2015年度 第3四半期	2015年度 第2四半期	2015年度 第1四半期	2014年度 第4四半期	2014年度 第3四半期	2014年度 第2四半期	2014年度 第1四半期
損益計算書関連の情報	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
収益合計	1,278	1,292	1,222	1,135	1,109	1,123	1,082	1,042
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(403)	(285)	(273)	(290)	(362)	(284)	(268)	(269)
営業収益純額	875	1,007	949	845	747	839	814	773
営業費用	(486)	(480)	(496)	(465)	(456)	(449)	(420)	(402)
英国銀行税	(42)	-	-	-	(29)	-	-	-
目標達成費用	(23)	(27)	(31)	(25)	(50)	(32)	(23)	(13)
営業費用合計	(551)	(507)	(527)	(490)	(535)	(481)	(443)	(415)
その他の収益純額	7	8	7	11	1	4	25	10
税引前利益	331	508	429	366	213	362	396	368
株主帰属利益	187	353	307	259	137	262	285	254
貸借対照表関連の情報	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	398	382	369	368	366	348	332	319
資産合計	474	458	419	424	413	389	362	350
資産合計	102	83	77	80	73	65	59	58
リスク調整後資産	413	407	403	399	399	386	377	364
パフォーマンス指標								
平均有形株主資本利益率	15.0%	28.3%	24.9%	21.0%	11.2%	21.8%	24.7%	22.6%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	50	50	50	50	49	48	46	45
平均株主資本利益率	12.0%	22.5%	19.7%	16.6%	9.0%	17.5%	19.7%	18.2%
平均割当株主資本(億ポンド)	63	63	63	63	62	60	58	56
収益に対する費用の比率	43%	39%	43%	43%	48%	43%	41%	40%
貸倒率(ベース・ポイント)	369	271	283	305	374	309	309	325
純利ざや	9.14%	9.26%	9.31%	8.78%	8.13%	8.84%	8.92%	9.19%

コア事業部門別四半期業績

アフリカ・バンキング

損益計算書関連の情報

	2015年度 第4四半期	2015年度 第3四半期	2015年度 第2四半期	2015年度 第1四半期	2014年度 第4四半期	2014年度 第3四半期	2014年度 第2四半期	2014年度 第1四半期
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
保険金控除後の収益合計	855	861	910	948	963	928	895	878
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(90)	(69)	(103)	(90)	(79)	(74)	(100)	(96)
営業収益純額	765	792	807	858	884	854	795	782
営業費用	(517)	(536)	(557)	(559)	(590)	(572)	(545)	(537)
英国銀行税	(52)	-	-	-	(45)	-	-	-
訴訟および特定行為	-	-	-	-	(1)	(1)	-	-
目標達成費用	(9)	(7)	(7)	(6)	(23)	(11)	(8)	(9)
営業費用合計	(578)	(543)	(564)	(565)	(659)	(584)	(553)	(546)
その他の収益純額	1	2	2	2	3	2	2	4
税引前利益	188	251	245	295	228	272	244	240
株主帰属利益	34	90	96	112	88	91	78	103

貸借対照表関連の情報

	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	299	317	338	357	352	345	338	350
資産合計	499	522	540	578	555	546	524	541
顧客預り金	306	318	344	350	350	334	332	340
リスク調整後資産	339	360	364	393	385	379	365	366

パフォーマンス指標

平均有形株主資本利益率	5.1%	13.3%	13.2%	14.7%	11.9%	13.1%	11.3%	15.5%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	27	27	29	31	29	28	28	27
平均株主資本利益率	3.8%	9.7%	9.7%	10.8%	8.7%	9.5%	8.1%	11.1%
平均割当株主資本(億ポンド)	36	37	39	41	40	38	38	37
収益に対する費用の比率	68%	63%	62%	60%	68%	63%	62%	62%
貸倒率(ベース・ポイント)	110	79	112	94	83	79	111	104
純利ざや	6.25%	5.96%	5.87%	6.06%	5.94%	6.12%	5.83%	5.91%

恒常通貨ベース¹

損益計算書関連の情報

	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
保険金控除後の収益合計	855	799	778	774	778	767	732	725
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(90)	(64)	(87)	(73)	(63)	(60)	(81)	(78)
営業収益純額	765	735	691	701	715	707	651	647
営業費用	(517)	(499)	(479)	(460)	(482)	(476)	(450)	(446)
英国銀行税	(52)	-	-	-	(45)	-	-	-
訴訟および特定行為	-	-	-	-	-	-	-	-
目標達成費用	(9)	(6)	(6)	(5)	(18)	(9)	(7)	(7)
営業費用合計	(578)	(505)	(485)	(465)	(545)	(485)	(457)	(453)
その他の収益純額	1	1	2	2	2	1	1	4
税引前利益	188	231	208	238	172	223	195	198
株主帰属利益	34	83	80	89	65	70	66	86

貸借対照表関連の情報

	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	299	288	281	279	276	275	267	266
資産合計	499	475	451	455	438	436	415	415
顧客預り金	306	289	287	275	276	267	263	261
リスク調整後資産	339	332	311	318	313	311	297	288

¹ 恒常通貨ベースの業績は、報告期間による為替レートの変動の影響を排除するため、南アフリカランド建の業績を、損益計算書に関しては2015年12月31日に終了した3ヶ月間の平均為替レートで、貸借対照表については2015年12月31日現在の為替レート(終値)で英ポンドに換算しています。

コア事業部門別四半期業績

インベストメント・バンク 損益計算書関連の情報	2015年度	2015年度	2015年度	2015年度	2014年度	2014年度	2014年度	2014年度
	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
インベストメント・バンキング手数料	456	502	586	549	527	410	661	513
貸付	76	155	122	83	111	137	66	103
バンキング	532	657	708	632	638	547	727	616
クレジット	221	228	272	274	173	255	270	346
株式	325	441	616	619	431	395	629	591
マクロ	371	485	554	624	424	470	504	552
市場	917	1,154	1,442	1,517	1,028	1,120	1,403	1,489
バンキングと市場	1,449	1,811	2,150	2,149	1,666	1,667	2,130	2,105
その他	13	-	-	-	-	(2)	24	(2)
収益合計	1,462	1,811	2,150	2,149	1,666	1,665	2,154	2,103
信用に関する減損(費用)／戻入およびその他の 引当金繰入額	(19)	(35)	(12)	11	(7)	(5)	7	19
営業収益純額	1,443	1,776	2,138	2,160	1,659	1,660	2,161	2,122
営業費用	(1,303)	(1,321)	(1,328)	(1,410)	(1,351)	(1,305)	(1,357)	(1,491)
英国銀行税	(203)	-	-	-	(218)	-	-	-
訴訟および特定行為	(6)	(44)	(13)	(44)	(33)	(1)	(85)	(10)
目標達成費用	(77)	(94)	(32)	(31)	(22)	(70)	(152)	(130)
営業費用合計	(1,589)	(1,459)	(1,373)	(1,485)	(1,624)	(1,376)	(1,594)	(1,631)
税引前(損失)／利益	(146)	317	765	675	35	284	567	491
株主帰属(損失)／利益	(139)	182	417	344	(150)	112	204	231
貸借対照表関連の情報	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	922	1,289	1,231	1,344	1,063	1,231	1,172	1,297
トレーディング・ポートフォリオ資産	651	799	818	991	948	988	1,012	1,012
デリバティブ金融資産	1,143	1,370	1,185	1,759	1,526	1,314	1,042	999
デリバティブ金融負債	1,222	1,457	1,277	1,860	1,606	1,376	1,095	1,067
リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付	255	693	584	580	643	828	830	866
公正価値で測定すると指定された金融資産	481	86	81	85	89	163	141	134
資産合計	3,759	4,520	4,201	5,096	4,557	4,884	4,462	4,694
リスク調整後資産	1,083	1,205	1,153	1,230	1,224	1,279	1,239	1,252
パフォーマンス指標								
平均有形株主資本利益率	(3.9%)	5.5%	12.2%	9.7%	(3.9%)	3.3%	5.6%	6.4%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	135	137	139	145	147	142	148	147
平均株主資本利益率	(3.7%)	5.2%	11.5%	9.1%	(3.7%)	3.1%	5.3%	6.1%
平均割当株主資本(億ポンド)	144	146	148	154	156	150	155	154
収益に対する費用の比率	109%	81%	64%	69%	97%	83%	74%	78%

コア事業部門別四半期業績

本社	2015年度	2015年度	2015年度	2015年度	2014年度	2014年度	2014年度	2014年度
	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期
損益計算書関連の情報	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
(費用)／収益合計	(107)	(42)	28	14	27	56	78	81
信用に関する減損戻入／(費用)およびその他の引当金繰入額	-	1	(1)	-	-	-	-	-
営業(費用)／収益純額	(107)	(41)	27	14	27	56	78	81
営業費用	(64)	(104)	(50)	(28)	(11)	(9)	(34)	(3)
英国銀行税	(8)	-	-	-	(8)	-	-	-
訴訟および特定行為	7	(14)	(5)	(2)	(8)	(4)	(42)	(12)
目標達成費用	(2)	(8)	(17)	(5)	(9)	-	5	(7)
営業費用合計	(67)	(126)	(72)	(35)	(36)	(13)	(71)	(22)
その他の収益／(費用)純額	1	-	2	2	-	(3)	(1)	1
税引前(損失)／利益	(173)	(167)	(43)	(19)	(9)	40	6	60
株主帰属利益／(損失)	34	(156)	(47)	(33)	122	(41)	45	(15)
貸借対照表関連の情報	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
資産合計	564	471	526	457	491	415	433	337
リスク調整後資産	77	76	75	63	56	75	76	160
平均割当有形株主資本	51	46	32	23	11	3	(11)	(28)
平均割当株主資本	54	50	36	28	14	7	(7)	(25)

事業部門別のリターンおよび株主資本

平均株主資本利益率および平均有形株主資本利益率は、親会社の普通株主に帰属する当期利益(その他の持分商品に係る支払利息に関して剰余金として計上されている税額控除を調整後)を当該期間の平均割当株主資本または平均割当有形株主資本(下記に記述しているアフリカ・バンキング以外の事業部門の非支配持分およびその他の株主持分を除く)で適宜除して算出されます。割当株主資本は、当グループが資本計画の目的で使用される仮定を反映し、のれんおよび無形資産を含む改正資本要件指令(CRD IV)完全施行ベースでの資本控除を調整した後の各事業部門の CRD IV 完全施行ベースのリスク調整後資産の 10.5%として算出されています。本社の資本には CRD IV の普通株式 Tier1 比率と 10.5%の差から生じた割り当てされていない当グループの資本が含まれています。割当有形株主資本も同様の手法に基づいて算出されますが、のれんおよび無形資産は除外されます。

アフリカ・バンキングの平均株主資本利益率の計算で使用されている株主資本は、(依然としてパークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド(BAGL)に属していないパークレイズのエジプトおよびジンバブエ事業の持分と併せた)パークレイズの BAGL 法定持分ならびにこれらの事業の買収に伴うパークレイズののれんです。有形株主資本利益率の有形株主資本も同じベースで計算されていますが、買収に伴うパークレイズののれんと BAGL 法定資本に含まれるのれんおよび無形資産は除外されます。

	2015年12月31日に 終了した年度 %	2014年12月31日に 終了した年度 %
平均有形株主資本利益率		
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	16.2	15.8
パークレイカード	22.3	19.9
アフリカ・バンキング	11.7	12.9
インベストメント・バンク	6.0	2.8
パークレイズ・コア事業部門	12.7	10.8
本社の影響 ¹	(1.8)	0.5
パークレイズ・コア	10.9	11.3
パークレイズ・ノンコアの影響 ¹	(5.1)	(5.4)
調整後パークレイズ・グループ合計	5.8	5.9

	2015年12月31日に 終了した年度 %	2014年12月31日に 終了した年度 %
平均株主資本利益率		
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	12.1	11.9
パークレイカード	17.7	16.0
アフリカ・バンキング	8.7	9.3
インベストメント・バンク	5.6	2.7
パークレイズ・コア事業部門	10.4	8.9
本社の影響 ¹	(1.4)	0.3
パークレイズ・コア	9.0	9.2
パークレイズ・ノンコアの影響 ¹	(4.1)	(4.1)
調整後パークレイズ・グループ合計	4.9	5.1

	2015年12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2014年12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)
親会社の普通株主に帰属する利益/(損失)²		
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	2,203	2,075
パークレイカード	1,114	943
アフリカ・バンキング	332	360
インベストメント・バンク	829	415
本社	(202)	112
パークレイズ・コア	4,276	3,905
パークレイズ・ノンコアの影響	(1,510)	(1,072)
調整後パークレイズ・グループ合計	2,766	2,833

¹ 本社およびパークレイズ・ノンコア部門の平均株主資本利益率と平均有形株主資本利益率は、それぞれパークレイズ・コア部門と当グループへの影響を示しています。本社またはノンコア部門の平均株主資本利益率と平均有形株主資本利益率を表すものではありません。

² 普通株主に帰属する当期利益にはその他の持分商品に係る支払利息に関して剰余金に計上されている税額控除を含んでいます。

業績管理

	2015年12月31日に 終了した年度 (億ポンド)	2014年12月31日に 終了した年度 (億ポンド)
平均割当有形株主資本		
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	136	131
パークレイカード	50	47
アフリカ・バンキング	28	28
インベストメント・バンク	139	146
本社 ¹	39	(6)
パークレイズ・コア	392	346
パークレイズ・ノンコア	89	132
調整後パークレイズ・グループ合計	481	478

	2015年12月31日に 終了した年度 (億ポンド)	2014年12月31日に 終了した年度 (億ポンド)
平均割当株主資本		
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	182	175
パークレイカード	63	59
アフリカ・バンキング	38	39
インベストメント・バンク	148	154
本社 ¹	42	(4)
パークレイズ・コア	473	423
パークレイズ・ノンコア	90	134
調整後パークレイズ・グループ合計	563	557

	2015年12月31日現在 (億ポンド)	2014年12月31日現在 (億ポンド)
期末割当株主資本		
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	183	179
パークレイカード	63	62
アフリカ・バンキング	34	40
インベストメント・バンク	130	147
本社 ¹	66	21
パークレイズ・コア	476	449
パークレイズ・ノンコア	72	110
調整後パークレイズ・グループ合計	548	559

¹ 本社の事業のリスク調整後資産と資本控除および平均普通株主資本と有形普通株主資本の残余残高に基づきます。

利ざやおよび残高

	2015年12月31日に終了した年度			2014年12月31日に終了した年度		
	利息収入純額 (百万ポンド)	平均顧客資産 (百万ポンド)	純利ざや %	利息収入純額 (百万ポンド)	平均顧客資産 (百万ポンド)	純利ざや %
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	6,438	214,989	2.99	6,298	210,026	3.00
パークレイカード	3,520	38,560	9.13	3,044	34,776	8.75
アフリカ・バンキング	2,066	34,116	6.06	2,093	35,153	5.95
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、パークレイカードおよびアフリカ・バンキングの合計	12,024	287,665	4.18	11,435	279,955	4.08
インベストメント・バンク	588			647		
本社	(303)			(216)		
パークレイズ・コア	12,309			11,866		
パークレイズ・ノンコア	249			214		
利息収入純額合計	12,558			12,080		

- PCB、パークレイカードおよびアフリカ・バンキングの利息収入純額合計は5%増加して120億ポンドとなりました。英ポンドに対する南アフリカランドの下落によるアフリカ・バンキングの減少によって一部相殺されたものの、PCBとパークレイカードが伸びたことで平均顧客資産が2,877億ポンド(2014年:2,800億ポンド)に増加したことを反映しています。
- 純利ざやは10ベース・ポイント上昇して4.18%となりました。これはパークレイカードで利息収益を生む貸出が伸びたことが主因です。構造的ヘッジの正味の寄与15億ポンド(2014年:16億ポンド)を含むグループの利息収入純額は126億ポンド(2014年:121億ポンド)に増加しました。株式の構造的ヘッジ収益は低金利環境が継続する状況下でヘッジを維持したことにより減少しました。
- 事業部門別の純利ざやは、当グループがホールセール市場から代替資金調達を行う際の費用をベースとしたグループ全体の内部調達レートの変動を反映しています。内部調達レートは純額ベースで余剰流動性を有する事業部門に適切にクレジットを与え、代替資金調達が必要な事業部門に実勢市場金利に期間プレミアムを含めたレートでチャージするためのグループ内の資金調達や流動性の利率として設定されます。

PCB、パークレイカードおよびアフリカ・バンキングの四半期分析

	2015年12月31日に終了した四半期		
	利息収入純額 (百万ポンド)	平均顧客資産 (百万ポンド)	純利ざや %
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	1,629	215,592	3.00
パークレイカード	912	39,567	9.14
アフリカ・バンキング	499	31,668	6.25
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、パークレイカードおよびアフリカ・バンキングの合計	3,040	286,827	4.20
	2015年9月30日に終了した四半期		
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	1,606	214,505	2.97
パークレイカード	904	38,721	9.26
アフリカ・バンキング	499	33,205	5.96
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、パークレイカードおよびアフリカ・バンキングの合計	3,009	286,431	4.17
	2015年6月30日に終了した四半期		
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	1,602	215,069	2.99
パークレイカード	883	38,025	9.31
アフリカ・バンキング	521	35,610	5.87
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、パークレイカードおよびアフリカ・バンキングの合計	3,006	288,704	4.18
	2015年3月31日に終了した四半期		
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	1,601	214,645	3.02
パークレイカード	821	37,909	8.78
アフリカ・バンキング	547	36,603	6.06
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング、パークレイカードおよびアフリカ・バンキングの合計	2,969	289,157	4.18

業績管理

報酬

繰延賞与は従業員が特定期間の勤務を含む一定の条件を満たした場合に限り支払われます。このため、賞与プールの情報と損益計算書上の計上額との間に期間差異が発生します。報酬コストの計上額への調整は以下の表の通りです。下表は報酬コストと人件費のその他の項目も示しています。

	パークレイズ・グループ			インベストメント・バンク ¹		
	2015年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2014年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率 (%)	2015年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2014年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率 (%)
報奨付与						
当期現金賞与	839	885	5	367	381	4
当期株式賞与	661	757	13	579	634	9
販売コミッション、コミットメントおよびその他の報奨	169	218	22	30	38	21
報奨付与合計	1,669	1,860	10	976	1,053	7
報奨付与合計額から損益計算書計上額への調整						
控除: 当期に付与された繰延賞与	(661)	(757)	13	(579)	(634)	9
加算: 過年度からの繰延賞与の当期費用計上額	874	1,067	18	736	854	14
その他 ²	2	(108)		51	12	
報酬コストの損益計算書計上額	1,884	2,062	9	1,184	1,285	8
その他の損益計算書計上額:						
給与	4,954	4,998	1	1,847	1,749	(6)
社会保障費	594	659	10	248	268	7
退職後給付 ³	545	624	13	112	120	7
手当およびトレーディング報奨	147	170	14	56	64	13
その他の報酬コスト	215	378	43	(24)	134	
報酬コスト合計⁴	8,339	8,891	6	3,423	3,620	5
その他人件費⁵	2,050	2,114	3	398	466	15
人件費合計	10,389	11,005	6	3,821	4,086	6
調整後収益純額に対する報酬比率³	37.2%	37.7%		45.5%	47.6%	
調整後収益に対する報酬比率³	34.0%	34.6%		45.2%	47.7%	

報酬に関する詳細は英語版年次報告書の 83-116 ページにある報酬に関する報告をご参照ください。

1 インベストメント・バンクのその他の報酬コストには、本社からの割当のほか、インベストメント・バンクで発生しその他の事業で費用計上された報酬コストと、その他の事業で発生しインベストメント・バンクで費用計上された報酬コストに関する再費用計上純額が含まれています。

2 報奨付与額と、販売コミッション、コミットメントおよびその他長期報奨に係る損益計算書計上額との差異。

3 2015年の退職後給付は確定給付債務の構成要素の評価益4億2,900万ポンド(2014年:ゼロポンド)の影響を除外するために調整されています。評価益を含めると、調整後収益純額に対する報酬比率は35.3%、調整後収益に対する報酬比率は32.3%となります。

4 加えて、社内作成ソフトウェアとして2億3,600万ポンド(2014年:2億5,000万ポンド)のグループ報酬が資産計上されました。

5 その他人件費には、外注、余剰人員の整理および事業再編、その他臨時雇用の費用が含まれています。

業績管理

これまでに付与された繰延賞与は、下表に示される年度において損益計算書に計上されることが予想されています。

損益計算書にこれまで付与されてきた繰延賞与の費用計上が予想される年度¹

	実績		予想 ²	
	2014年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2015年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2016年 12月31日に 終了する年度 (百万ポンド)	2017年 12月31日に 終了する 年度以降 (百万ポンド)
パークレイズ・グループ				
2012年およびそれ以前の賞与プールからの繰延賞与	488	117	13	-
2013年の賞与プールからの繰延賞与	579	293	111	17
2014年の賞与プールからの繰延賞与	-	464	194	100
2015年の賞与プールからの繰延賞与	-	-	370	247
損益計算書に費用計上される繰延賞与	1,067	874	688	364
インベストメント・バンク				
2012年およびそれ以前の賞与プールからの繰延賞与	398	101	11	-
2013年の賞与プールからの繰延賞与	456	239	93	13
2014年の賞与プールからの繰延賞与	-	396	167	80
2015年の賞与プールからの繰延賞与	-	-	341	217
損益計算書に費用計上される繰延賞与	854	736	612	310

¹ 実際の計上額は条件が満たされているか否かに影響され、上記の予想とは異なります。

² 2016年と2017年に実施される可能性がある将来的な付与の影響を含みません。

資金調達リスクー流動性

概要

バークレイズはグループの流動性リスクを管理するための包括的な重要なリスク統制フレームワークを備えています。流動性フレームワークはプルーデンス(健全性)規制機構(PRA)の規制基準に適合し、当グループが金額および質において十分な流動性リソース、ならびに流動性リスク選好度に見合った適切な資金調達プロファイルを確実に維持するよう設計されています。流動性フレームワークはポリシー形成、レビューおよび管理、分析、ストレス・テスト、制限設定、モニタリングを組み合わせて構築されています。

バークレイズはグループの流動性リスクを管理するための包括的なフレームワークを備えています。バークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド(BAGL)の流動性リスクは、現地通貨および資金調達要件のため別個に管理されています。特段の記述がない限り、本セクションのすべての開示情報は BAGL を除外しており、BAGL については独立的に報告がなされています。現地での要件を満たすための調整が行われていますが、BAGL の流動性リスクはバークレイズ・グループと一貫したベースで管理されています。

流動性ストレス・テスト

バークレイズは内部で設定した流動性リスク選好度(LRA)および CRD IV の流動性カバレッジ比率(LCR)などの規制基準に対する当グループの流動性ポジションを管理しています。2015 年 12 月 31 日現在、当グループは 30 日間のバークレイズ固有の LRA と LCR それぞれのストレス時の資金流出純額の 100%を大幅に上回る適格流動性資産を保有しています。

内部規則および規制に則ったストレス・テスト

	バークレイズの LRA (30 日間のバークレイズの 固有シナリオの必要額) ¹ (億ポンド)	CRD IV の LCR 見積もり ² (億ポンド)
適格流動性バッファ	1,450	1,470
ストレス時の資金流出純額	(1,100)	(1,100)
余剰流動性	350	370
2015 年 12 月 31 日現在での想定される資金流出純額に対する余剰流動性比率	131%	133%
2014 年 12 月 31 日現在での想定される資金流出純額に対する余剰流動性比率	124%	124%

当グループは当期において、内部規則上のストレス要件に対し、より高水準の余剰流動性を構築し、流動性ポジションを強化しました。

バークレイズは市場の資金調達状況や当グループの流動性ポジションのリスクを考慮しつつ、内部規則および規制上のストレス要件に対する余剰流動性を適正水準に維持する予定です。これらのリスクを継続的に再評価することで、余剰流動性の規模の適正化に関しての対応が可能となります。

バークレイズは 2014 年 10 月にバーゼル銀行監督委員会(BCBS)が公表した最終的な安定調達比率(NSFR)の基準に基づいて、安定調達比率(NSFR)²を 106%(2014 年:102%)と推定しました。

¹ LRA の一環としてモニターされている 3 つのストレス・シナリオのうち、30 日間のバークレイズ固有シナリオの下での比率は最も低い 131%となります(2014 年:124%)。これに対し、90 日間の市場全体シナリオの下での比率は 144%(2014 年:135%)、30 日間の複合シナリオの下での比率は 133%(2014 年:127%)となります。

² バークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッドを含みます。

資金調達リスクー流動性

余剰流動性

	余剰流動性 2015年12月 31日現在				余剰流動性 2014年12月 31日現在 (億ポンド)
	余剰流動性のうち CRD IV の LCR 適格分				
	(億ポンド)	現金 (億ポンド)	レベル 1 (億ポンド)	レベル 2A (億ポンド)	
2015年12月31日現在					
現金および中央銀行預け金 ¹	480	450	10	-	370
国債					
AAA 格	630	-	630	-	730
AA+格から AA-格	110	-	70	40	120
その他の国債	10	-	10	-	-
国債合計	750	-	710	40	850
その他					
国際機関債および国際開発銀行	70	-	70	-	90
政府機関および政府機関不動産担保証券	80	-	60	20	110
カバード・ボンド(AA-格以上)	40	-	20	20	30
その他	30	-	-	-	40
その他合計	220	-	150	40	270
2015年12月31日現在合計	1,450	450	870	80	
2014年12月31日現在合計	1,490	370	990	70	

当年度末の当グループの余剰流動性は、1,450億ポンド(2014年:1,490億ポンド)でした。2015年度において、各月末時点の余剰流動性は、1,420億ポンドから1,680億ポンド(2014年:1,340億ポンドから1,560億ポンド)の範囲で推移し、月末平均残高は1,550億ポンドでした(2014年:1,450億ポンド)。余剰流動性は担保に供されていない資産で、支払や決済要件の裏付けとして使用されるものではありません。

パークレイズは余剰流動性を一元的に管理しています。2015年12月31日現在、余剰流動性の94%(2014年:92%)はパークレイズ・バンク・ピーエルシーに所在し、パークレイズ・グループ全体の流動性ニーズを満たすために利用可能となっています。残余余剰流動性の大半はパークレイズ・キャピタル・インク(BCI)内部で保有されています。余剰流動性のうち、パークレイズ・バンク・ピーエルシーの外部に所在する部分は各事業体固有のストレスによる資金流出および規制上の要件に対して保有されています。

¹ 現金および中央銀行預け金の97%超(2014年:95%超)はイングランド銀行、米連邦準備制度理事会、欧州中央銀行、日本銀行、スイス国立銀行に預けられています。

預金による調達

顧客向け貸付金の調達	2015年12月31日現在			2014年 12月31日現在	
	顧客向け貸付金 (億ポンド)	顧客預り金 (億ポンド)	預貸率 %	預貸率 %	
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	2,180	3,050			
パークレイカード	400	100			
アフリカ・バンキング	300	310			
ノンコア(リテール)	120	20			
資金調達合計	3,000	3,480	86%	89%	
インベストメント・バンク、ノンコア(ホールセール)および 本社	990	700			
合計	3,990	4,180	95%	100%	

全体として、PBC、パークレイカード、アフリカ・バンキング、ノンコア(リテール)は主に顧客預り金によって資金調達しています。これらの事業の預貸率は86%でした(2014年:89%)。貸付金を上回る顧客預り金は、主にこれらの事業の流動性バッファーとして利用されています。インベストメント・バンク部門はホールセール負債で資金調達しており、これらの事業のリテール顧客預り金からの調達に依存していません。グループ全体の預貸率は95%(2014年:100%)です。

2015年12月31日現在、顧客預り金合計1,290億ポンド(2014年:1,280億ポンド)が英国金融サービス補償スキームおよびその他の類似スキームで保証されています。これらの顧客預り金に加え、その他の負債40億ポンド(2014年:40億ポンド)が政府によって付保または保証されています。

資金調達リスクー流動性

ホールセール調達

ホールセール調達の構成¹

レボ取引を除いた当グループのホールセール資金調達残高合計は、1,420 億ポンド(2014 年:1,710 億ポンド)でした。うち、540 億ポンド(2014 年:750 億ポンド)は 1 年未満に満期を迎えるもので、140 億ポンド(2014 年:220 億ポンド)はターム・ファンディングに関連しています。

ホールセールの資金調達残高のうち、250 億ポンド(2014 年:330 億ポンド)は担保付資金調達、1,170 億ポンド(2014 年:1,380 億ポンド)は無担保資金調達でした。

シングル・ポイント・オブ・エントリー(SPOE)破綻処理モデルに備えて、パークレイズは持株会社であるパークレイズ・ピーエルシーによる負債性資本の発行およびターム優先無担保資金調達を引き続き実施し、パークレイズ・バンク・ピーエルシーの満期を迎える債務を借り換えています。

期間別 ホールセール調達²

	1 ヵ月 未満	1-3 ヵ月	3-6 ヵ月	6-12 ヵ月	1 年 未満	1-2 年	2-3 年	3-4 年	4-5 年	5 年 以上	合計
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
パークレイズ・ピーエルシー											
無担保シニア債(公募)	-	-	-	-	-	-	8	13	9	31	61
無担保シニア債(私募)	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
劣後負債	-	-	-	-	-	-	-	-	9	9	18
パークレイズ・バンク・ピーエルシー											
銀行からの預かり金	95	31	13	8	147	1	-	-	-	3	151
譲渡性預金およびコマースャル・ペーパー	5	49	34	53	141	10	6	9	4	5	175
資産担保コマースャル・ペーパー	22	33	2	-	57	-	-	-	-	-	57
無担保シニア債(公募)	-	13	-	14	27	36	-	43	13	39	158
無担保シニア債(私募) ³	6	16	23	48	93	51	54	37	30	85	350
転換社債	-	-	11	-	11	44	10	16	-	42	123
資産担保証券	7	-	-	-	7	5	14	13	5	3	47
劣後負債	-	-	-	-	-	11	30	2	9	140	192
その他 ⁴	23	11	3	15	52	7	3	4	4	16	86
2015 年 12 月 31 日現在合計	158	153	86	138	535	165	126	137	83	373	1,419
うち担保付	42	39	16	3	100	51	24	28	5	45	253
うち無担保	116	114	70	135	435	114	102	109	78	328	1,166
2014 年 12 月 31 日現在合計	168	232	144	210	754	140	161	65	140	454	1,714
うち担保付	53	78	17	22	170	27	51	1	24	60	333
うち無担保	115	154	127	188	584	113	110	64	116	394	1,381

ホールセールの資金調達残高には 350 億ポンド(2014 年:450 億ポンド)の私募無担保シニア債が含まれています。これらの債券は仲介業者およびプライベート・バンクを含む各種販路を通じて発行されています。必要条件ではありませんが、余剰流動性は 1 年未満で満期を迎えるホールセール資金調達を 910 億ポンド(2014 年:740 億ポンド)上回りました。

ターム資金調達

当グループは 2015 年度中の期限前償還控除後の純額 90 億ポンドのターム資金調達を実施しました。また、2016 年度には 140 億ポンド、2017 年度には 160 億ポンドのターム資金調達が満期を迎えます。

当グループは種類、通貨、販路の多様性を備えた安定した資金調達を維持するため、2016 年度に引き続き公募ホールセール債券を発行する方針です。

¹ ホールセール資金調達の構成は貸借対照表に記載された銀行預り金、公正価値で測定する金融負債、発行債券および劣後負債で成っており、現金担保と決済残高は除かれています。イングランド銀行の資金調達支援スキームへの参加を含む担保スワップは含まれていません。銀行預り金には欧州中央銀行(ECB)のファシリティーによる負債 60 億ポンドが含まれています。

² ターム資金調達の満期は公募指標および私募無担保シニア債、カバード・ボンド/資産担保証券(ABS)および商品の当初満期が 1 年超の劣後負債で成っています。

³ ストラクチャード・ノート 280 億ポンドを含み、うち 80 億ポンドは 1 年以内に満期を迎えます。

⁴ 主として公正価値で測定した預り金 50 億ポンドおよび現物金のリバース・レボ取引 30 億ポンドで構成されています。

資金調達リスクー資本

資本要素

欧州連合(EU)は2014年1月1日、自己資本規制(CRR)および改正資本要件指令(CRD IVと総称されます)の下でバーゼルIIIの実施を開始しました。これらの規制は経過措置ルールの実施を含む、規制上の実務基準およびブルーデンス(健全性)規制機構(PRA)のルール・ブックにより補完されます。しかしながら、CRD IVの一部の要素は欧州銀行監督機構(EBA)が公表し、欧州委員会およびPRAが採用する予定の最終的な実務上の基準と説明によって左右されるため、ルールおよびガイダンスは依然変更される可能性があります。自己資本、リスク調整後資産およびレバレッジの算出はすべてバークレイズによる現行ルールの解釈を反映したものです。

資本比率	2015年 12月31日現在	2015年 9月30日現在	2014年 12月31日現在
完全施行ベースの普通株式 Tier 1 (CET1)	11.4%	11.1%	10.3%
PRA 経過措置ルールに基づく CET1 ^{1,2}	11.4%	11.1%	10.2%
PRA 経過措置ルールに基づく Tier 1 ^{3,4}	14.7%	14.2%	13.0%
PRA 経過措置ルールに基づく自己資本合計 ^{3,4}	18.6%	17.7%	16.5%
資本要素	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
貸借対照表上の株主資本(非支配持分を除く)	59,810	61,945	59,567
(控除)その他の持分商品(AT1 資本として認識)	(5,305)	(5,314)	(4,322)
将来の配当原資としての利益剰余金に対する調整	(631)	(545)	(615)
少数株主持分(連結 CET1 として認められるもの)	950	1,139	1,227
その他規制上の調整および控除:			
追加的評価調整(PVA)	(1,602)	(2,018)	(2,199)
のれんおよび無形資産	(8,234)	(8,177)	(8,127)
一時的な差異を除いた将来の収益に係る繰延税金資産	(855)	(1,012)	(1,080)
キャッシュフロー・ヘッジ損益に係る公正価値再評価差額	(1,231)	(1,807)	(1,814)
減損を上回る予想損失額	(1,365)	(1,568)	(1,772)
当グループ自身の信用度に関連する公正価値で測定する負債に係る損益	127	(53)	658
確定給付年金基金資産	(689)	(67)	-
当グループが発行した CET1 金融商品の金融機関による直接的・間接的保有	(57)	(57)	(25)
その他規制上の調整	(177)	(61)	(45)
完全施行ベースの CET1 資本	40,741	42,405	41,453
未実現利益に係る規制上の調整 ¹	-	-	(583)
PRA 経過措置ルールに基づく CET1 資本	40,741	42,405	40,870
追加的 Tier 1 (AT1) 資本			
資本準備商品および関連株式プレミアム	5,305	5,314	4,322
子会社が発行した適格 AT1 資本(少数株主持分を含む)	6,718	6,697	6,870
その他規制上の調整および控除	(130)	(130)	-
暫定追加的 Tier 1 資本⁵	11,893	11,881	11,192
PRA 経過措置ルールに基づく Tier 1 資本	52,634	54,286	52,062
Tier 2 (T2) 資本			
資本準備商品および関連株式プレミアム	1,757	824	800
子会社が発行した適格 T2 資本(少数株主持分を含む)	12,389	12,602	13,529
その他規制上の調整および控除	(253)	(254)	(48)
PRA 経過措置ルールに基づく規制上の自己資本合計	66,527	67,458	66,343
リスク調整後資産	358,376	381,851	401,900

- 2015年1月1日以降は経過措置ルールに基づく未実現利益に係る規制上の調整が適用されないため、完全施行ベースの CET1 資本は経過措置ルールに基づくものと同等です。
- 468億ポンドの経過措置ベースの CRD IV CET1 資本と3,580億ポンドのリスク調整後資産に基づく、バークレイズの Tier 2 コンティンジェンシー・キャピタル・ノートに適用される CRD IV の CET1 比率(FSAによる2012年10月の暫定発表)は13.1%でした。
- PRA 経過措置ルールに基づく自己資本はPRAのルール・ブックおよび付随するスーパーバイザー・ステートメントに基づいています。
- 2015年12月31日現在、バークレイズの完全施行ベースの Tier 1 自己資本は461億7,300万ポンド、完全施行ベースの Tier 1 自己資本比率は12.9%でした。完全施行ベースの規制上の自己資本総額は621億300万ポンド、完全施行ベースの総自己資本比率は17.3%でした。完全施行ベースの Tier 1 自己資本および自己資本総額の数値は、CRD IV が定めた経過規定を適用せず、また、CRD IV の関連基準に対する AT1 および T2 金融商品のコンプライアンスを評価せずに算出されています。
- 経過措置ルールに基づく AT1 資本119億ポンドのうち、レバレッジ比率に使用される完全施行ベースの AT1 資本は資本準備商品および関連株式プレミアム53億ポンド、適格少数株主持分3億ポンド、資本控除1億ポンドで構成されています。適用除外の子会社が発行した旧来からの Tier 1 資本準備商品は除外されています。

資金調達リスクー資本

(完全施行ベース)普通株式 Tier 1 (CET1) 資本の変動	2015年 12月31日に 終了した3ヶ月 (百万ポンド)	2015年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)
CET1 資本の期首残高	42,405	41,453
株主に帰属する当期損失	(2,315)	(49)
当グループ自身の信用度に関連する利益	180	(531)
支払および支払予定配当金	(339)	(1,372)
利益から生じた規制上の資本の減少	(2,474)	(1,952)
株式報奨の正味影響額	123	609
売却可能投資再評価差額	316	(245)
為替換算再評価差額	72	(41)
その他の剰余金	(3)	9
その他の適格剰余金の増加	508	332
退職給付	510	916
確定給付年金基金資産の控除	(622)	(689)
年金の正味の影響	(112)	227
少数株主持分	(189)	(277)
追加的評価調整 (PVA)	416	597
のれんおよび無形資産	(57)	(107)
一時的な差異を除いた将来の収益に係る繰延税金資産	157	225
予想損失の減損超過額	203	407
当グループが発行した CET1 金融商品の金融機関による直接的・間接的保有	-	(32)
その他規制上の調整	(116)	(132)
規制上の調整および控除の減少:	414	681
CET1 資本の期末残高	40,741	40,741

- 完全施行ベースの CET 1 比率は、リスク調整後資産の大幅減少により 2015 年度に 11.4% (2014 年: 10.3%) に上昇しました。
- 調整項目吸収後の CET 1 自己資本は 7 億ポンド減少して 407 億ポンドとなりました。重要な変動は以下の通りです。
 - 支払配当金および予定配当金が 14 億ポンド減少しました。
 - 7 億ポンドの年金資産控除により一部相殺されたものの、退職給付引当金が 9 億ポンド増加し、2 億ポンドの純増となりました。
 - 規制上の控除および調整額の減少により 7 億ポンド増加しました。適格少数株主持分の 3 億ポンドの減少により一部相殺されたものの、PVA の 6 億ポンドの減少、スペイン事業の売却およびインベストメント・バンクの処分による予想損失の 4 億ポンドの減少が含まれています。

資金調達リスクー資本

リスクの種類および事業部門別リスク調整後資産

	信用リスク		カウンターパーティー信用リスク ¹		市場リスク ²		オペレーショナルリスク	リスク調整後資産合計
	標準的手法 (百万ポンド)	内部格付手法 (百万ポンド)	標準的手法 (百万ポンド)	内部格付手法 (百万ポンド)	標準的手法 (百万ポンド)	内部モデル方式 (百万ポンド)		
2015年12月31日現在								
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	31,506	71,352	242	1,122	30	-	16,176	120,428
パークレイカード	17,988	17,852	-	-	-	-	5,505	41,345
アフリカ・バンキング	8,556	17,698	22	487	885	682	5,604	33,934
インベストメント・バンク	4,808	39,414	11,020	10,132	9,626	13,713	19,620	108,333
本社	1,513	2,763	32	59	48	1,230	2,104	7,749
コア合計	64,371	149,079	11,316	11,800	10,589	15,625	49,009	311,789
パークレイズ・ノンコア	5,078	11,912	1,397	9,231	679	10,639	7,651	46,587
リスク調整後資産合計	69,449	160,991	12,713	21,031	11,268	26,264	56,660	358,376
2014年12月31日現在								
パーソナル・アンド・コーポレート・バンキング	32,657	70,080	238	1,049	26	-	16,176	120,226
パークレイカード	15,910	18,492	-	-	-	-	5,505	39,907
アフリカ・バンキング	9,015	21,794	10	562	948	588	5,604	38,521
インベストメント・バンク	5,773	36,829	13,739	11,781	18,179	16,480	19,621	122,402
本社	506	2,912	234	62	7	521	1,326	5,568
コア合計	63,861	150,107	14,221	13,454	19,160	17,589	48,232	326,624
パークレイズ・ノンコア	10,679	19,416	3,023	18,406	2,236	13,088	8,428	75,276
リスク調整後資産合計	74,540	169,523	17,244	31,860	21,396	30,677	56,660	401,900

リスク調整後資産の変動の内訳

リスク調整後資産	信用リスク (億ポンド)	カウンターパーティー信用リスク ¹ (億ポンド)	市場リスク ² (億ポンド)	オペレーショナルリスク (億ポンド)	リスク調整後資産合計 (億ポンド)
2015年1月1日現在	2,440	491	521	567	4,019
簿価	83	(106)	(95)	-	(118)
買収および売却	(142)	-	(4)	-	(146)
簿価の質	1	(17)	7	-	(9)
モデル更新	(21)	(11)	(27)	-	(59)
手法および方針	23	(19)	(26)	-	(22)
外国為替	(80)	(1)	-	-	(81)
その他	-	-	-	-	-
2015年12月31日現在	2,304	337	376	567	3,584

リスク調整後資産は 435 億ポンド減少して 3,584 億ポンドとなりました。主な要因は以下の通りです。

- 簿価:主に保有する米国債券および株式の削減、デリバティブおよび証券金融取引の削減により 118 億ポンド減少。この一部はアフリカおよび英国を中心としたコーポレート・バンキングの貸付増加によって部分的に相殺されました。
- 買収および売却:スペイン事業の売却を含むノンコア部門の資産売却を主な要因として 146 億ポンド減少。
- モデル更新:主に多角化の実施による一般のおよび個別の先進市場リスクの軽減、ならびにインベストメント・バンクおよびノンコア部門の信用リスク・モデルの改訂により 59 億ポンド減少。
- 手法および方針:主にマッチしていない外国為替担保のモデル化の実施、ならびに特定の事業における証券金融取引の銀行勘定からトレーディング勘定への移管したことによる追加的な担保相殺により 22 億ポンド減少。
- 外国為替の変動:英ポンドに対する南アフリカランドの下落を主因に 81 億ポンド減少。

¹ デフォルト・ファンド拠出金に係るリスク調整後資産はカウンターパーティー信用リスクに含まれています。

² 信用評価調整(CVA)に係るリスク調整後資産は市場リスクに含まれています。

³ 外国為替の変動にはモデル化によるカウンターパーティー・リスクやモデル化による市場リスクは含まれていません。

資金調達リスクー資本

レバレッジ

当グループに適用されるレバレッジ比率は、2015年1月に改訂されたEUの自己資本規制(CRR)の要件に従って算出されています。以下のレバレッジ比率は、CRRの定義による期末Tier1自己資本を分子に使用し、またCRRの定義によるレバレッジ・エクスポージャーを使用して算出されています。

2015年12月31日現在のパークレイズのレバレッジ比率は4.5%でした。これはPRAの改訂スーパーバイザー・ステートメント「SS45/15」および更新されたPRAのルール・ブックで示された期末の予想最低要件3.7%(最低要件3%とグローバルにシステム上重要な金融機関(G-SII)に対する完全施行ベースの資本バッファで構成されています)を上回る水準です。

レバレッジ・エクスポージャー	2015年 12月31日現在 (億ポンド)	2015年 9月30日現在 (億ポンド)	2014年 12月31日現在 ¹ (億ポンド)
会計上の資産			
デリバティブ金融商品	3,280	3,790	4,400
現金担保	620	640	730
リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付	280	840	1,320
公正価値で測定すると指定された金融資産 ²	770	340	380
貸付金およびその他の資産	6,250	6,760	6,750
IFRS 資産合計	11,200	12,370	13,580
規制上の連結調整	(100)	(60)	(80)
デリバティブに係る調整			
デリバティブのネットティング	(2,930)	(3,430)	(3,950)
現金担保に係る調整	(460)	(500)	(530)
売建クレジット・プロテクション純額	150	220	270
デリバティブに係る潜在的将来エクスポージャー(PFE)	1,290	1,550	1,790
デリバティブ調整合計	(1,950)	(2,160)	(2,420)
証券金融取引(SFT)調整	160	270	250
規制上の控除およびその他調整	(140)	(150)	(150)
オフ・バランスシートのコミットメントの加重	1,110	1,140	1,150
完全施行ベースのレバレッジ・エクスポージャー合計	10,280	11,410	12,330
完全施行ベースの普通株式 Tier 1 資本	407	424	415
完全施行ベースの追加的 Tier 1 資本	54	55	46
完全施行ベースの Tier 1 資本	462	479	460
完全施行ベースのレバレッジ比率	4.5%	4.2%	3.7%

¹ 2014年の比較数値はBCBS 270ベースで算出されています。パークレイズはBCBS 270レバレッジ・エクスポージャーとEU委任法令に従って算出されるレバレッジ・エクスポージャーの間に重要な相違があるとは考えていません。

² 公正価値で測定すると指定された金融資産には、公正価値で測定すると指定されたリバース・レポ取引500億ポンド(2014年:50億ポンド)が含まれていません。

資金調達リスクー資本

- 2015 年度においてレバレッジ比率は大幅に上昇して 4.5%となりました(2014 年:3.7%)。レバレッジ・エクスポージャーが 2,050 億ポンド減少して 1 兆 280 億ポンドとなったことを反映しています。
- デリバティブ・エクスポージャー合計は 760 億ポンド減少して 1,950 億ポンドとなりました。
 - 潜在的将来エクスポージャー(PFE)は 500 億ポンド減少して 1,290 億ポンドとなりました。ノンコアの持続的な圧縮と取引の縮小および解約を含む事業活動の最適化が主因です。
 - その他のデリバティブ資産は 140 億ポンド減少して 510 億ポンドとなりました。主要金利フォワード・カーブの上昇と取引満期を背景に IFRS デリバティブが純減したことが主因です。
売建クレジット・プロテクション純額は 120 億ポンド減少して 150 億ポンドとなりました。事業活動の縮小およびポートフォリオ・ネットティングの改善が主因です。
- リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付、公正価値で測定すると指定された金融資産の合計は 650 億ポンド減少して 1,050 億ポンドとなりました。貸借対照表のレバレッジの解消を背景に、マッチド・ブック取引および一般企業融資が減少したことを反映しています。
- 貸付金およびその他資産は 500 億ポンド減少して 6,250 億ポンドとなりました。ノンコアの圧縮とインベストメント・バンクの取引活動の低下を主因としたトレーディング・ポートフォリオ資産の 370 億ポンドの減少、決済残高の 100 億ポンドの減少、英ポンドに対する南アフリカランドの下落を受けたアフリカ部門の 50 億ポンドの減少を反映しています。これはバークレイカードの 30 億ポンドの貸付増加により部分的に相殺されました。
- 証券金融取引(SFT)調整は取引満期と取引量の減少を反映し、90 億ポンド減少して 160 億ポンドとなりました。

信用リスク

貸付金および減損の分析

2015年12月31日現在	貸付金総額 (百万ポンド)	減損引当金 (百万ポンド)	貸付金 (減損控除後) (百万ポンド)	クレジット・ リスク・ローン (CRL) (百万ポンド)	貸付金総額 に占める CRLの比率 %	貸付金に係る 減損費用 ¹ (百万ポンド)	貸倒率 ベース・ ポイント
パーソナル・アンド・コーポレート・ バンキング	137,212	713	136,499	1,591	1.2	199	15
アフリカ・バンキング	17,412	539	16,873	859	4.9	273	157
パークレイカード	43,346	1,835	41,511	1,601	3.7	1,251	289
パークレイズ・コア	197,970	3,087	194,883	4,051	2.0	1,723	87
パークレイズ・ノンコア	11,610	369	11,241	845	7.3	85	73
グループ・リテール合計	209,580	3,456	206,124	4,896	2.3	1,808	86
インベストメント・バンク	92,321	83	92,238	241	0.3	47	5
パーソナル・アンド・コーポレート・ バンキング	87,855	914	86,941	1,794	2.0	182	21
アフリカ・バンキング	14,955	235	14,720	541	3.6	80	53
本社	5,922	-	5,922	-	-	-	-
パークレイズ・コア	201,053	1,232	199,821	2,576	1.3	309	15
パークレイズ・ノンコア	34,854	233	34,621	345	1.0	(20)	(6)
グループ・ホールセール合計	235,907	1,465	234,442	2,921	1.2	289	12
グループ合計	445,487	4,921	440,566	7,817	1.8	2,097	47
売買目的の貸付金	2,474	n/a	2,474				
公正価値で測定すると指定された貸付金	17,913	n/a	17,913				
貸付金(公正価値で保有)	20,387	n/a	20,387				
貸付金合計	465,874	4,921	460,953				
2014年12月31日現在							
パーソナル・アンド・コーポレート・ バンキング ^{2,3}	136,544	766	135,778	1,733	1.3	215	16
アフリカ・バンキング	21,334	681	20,653	1,093	5.1	295	138
パークレイカード	38,376	1,815	36,561	1,765	4.6	1,183	308
パークレイズ・コア	196,254	3,262	192,992	4,591	2.3	1,693	86
パークレイズ・ノンコア	20,259	428	19,831	1,209	6.0	151	75
グループ・リテール合計	216,513	3,690	212,823	5,800	2.7	1,844	85
インベストメント・バンク	106,377	44	106,333	71	0.1	(14)	(1)
パーソナル・アンド・コーポレート・ バンキング ²	88,192	873	87,319	2,112	2.4	267	30
アフリカ・バンキング	16,312	246	16,066	665	4.1	54	33
本社	3,240	-	3,240	-	-	-	-
パークレイズ・コア	214,121	1,163	212,958	2,848	1.3	307	14
パークレイズ・ノンコア	44,699	602	44,097	841	1.9	53	12
グループ・ホールセール合計	258,820	1,765	257,055	3,689	1.4	360	14
グループ合計	475,333	5,455	469,878	9,489	2.0	2,204	46
売買目的の貸付金	2,693	n/a	2,693				
公正価値で測定すると指定された貸付金	20,198	n/a	20,198				
貸付金(公正価値で保有)	22,891	n/a	22,891				
貸付金合計	498,224	5,455	492,769				

石油・ガスセクターに対する貸借対照表上の正味エクスポージャーは44億ポンド(2014年:58億ポンド)、同セクターに対する偶発債務およびコミットメントは138億ポンド(2014年:126億ポンド)でした。減損費用は1億600万ポンド(2014年:100万ポンド)でした。当グループの石油・ガスセクターへの信用リスク正味エクスポージャー合計に対する「ストロング」および「サティスファクトリー」と分類される正味エクスポージャー合計の比率は97%(2014年:99%)でした。

2016年を通して平均原油価格が1バレル=30ドルにとどまった場合は、追加的な減損が約2億5,000万ポンド発生すると推定されます。また、2016年を通して平均原油価格が1バレル=25ドルに下落した場合には、追加的な減損が約4億5,000万ポンド発生すると推定されます。

1 売却可能投資およびリバース・レポ取引に係る減損費用を除外しています。

2 英国ビジネス・バンキングは現在の部門運営方法に従ってリテールからホールセールに再分類されました。2014年度の数値はこれを反映して修正再表示されており、貸付金総額84億ポンド、クレジット・リスク・ローン4億8,200万ポンドおよび減損費用4,800万ポンドがホールセールに再分類されています。

3 2014年度のPCBのクレジット・リスク・ローンは、延滞区分の査定手法をその他の住宅ローン・リスクの開示情報に合わせるために1億5,100万ポンド修正されています。

要約連結財務書類

要約連結損益計算書(監査済)

継続事業	注記 ¹	2015年12月31日 に終了した年度 (百万ポンド)	2014年12月31日 に終了した年度 (百万ポンド)
利息収入純額		12,558	12,080
手数料収入純額		7,892	8,174
トレーディング収益純額		3,623	3,331
投資収益純額		1,138	1,328
保険契約に基づく保険料収入純額		709	669
その他の収益		67	186
収益合計		25,987	25,768
保険契約に基づく保険金および給付金純額		(533)	(480)
保険金控除後の収益合計		25,454	25,288
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額		(2,114)	(2,168)
営業収益純額		23,340	23,120
人件費		(9,960)	(11,005)
一般管理費		(10,717)	(9,424)
営業費用		(20,677)	(20,429)
事業の売却損ならびに関連会社および合併企業の損益に対する持分		(590)	(435)
税引前利益		2,073	2,256
税金	1	(1,450)	(1,411)
税引後利益		623	845
以下に帰属するもの:			
親会社の普通株主		(394)	(174)
その他の株主持分	9	345	250
株主合計		(49)	76
非支配持分	2	672	769
税引後利益		623	845
継続事業からの1株当たり利益			
基本的普通株式1株当たり損失 ²	3	(1.9ペンス)	(0.7ペンス)
希薄化後普通株式1株当たり損失 ²		(1.9ペンス)	(0.7ペンス)

1 財務書類に関する注記は、英語原文の51ページから54ページをご参照下さい。

2 その他の株主持分に帰属する税引後利益3億4,500万ポンド(2014年:2億5,000万ポンド)は剰余金に計上する税額控除7,000万ポンド(2014年:5,400万ポンド)によって相殺されています。1株当たり利益は残りの2億7,500万ポンドと非支配持分を税引後利益から差し引いて計算したものです。

要約連結財務書類

要約連結損益およびその他の包括利益計算書(監査済)

継続事業	注記 ¹	2015年12月31日	2014年12月31日
		に終了した年度 (百万ポンド)	に終了した年度 (百万ポンド)
税引後利益		623	845
損益に振替えられる可能性のあるその他の包括利益/(損失):			
為替換算再評価差額	10	(476)	486
売却可能投資再評価差額	10	(251)	413
キャッシュフロー・ヘッジ再評価差額	10	(594)	1,540
その他		21	(42)
損益に振替えられる可能性のある包括利益/(損失)合計		(1,300)	2,397
損益に振替えられないその他の包括利益:			
退職給付の再測定		914	205
当期その他の包括利益/(損失)		(386)	2,602
当期包括利益合計		237	3,447
以下に帰属するもの:			
親会社の株主		45	2,756
非支配持分		192	691
当期包括利益合計		237	3,447

¹ 財務書類に関する注記は、英語原文の51ページから54ページをご参照下さい。

要約連結財務書類

要約連結貸借対照表(監査済)

	注記 ¹	2015年12月31日	2014年12月31日
		現在 (百万ポンド)	現在 (百万ポンド)
資産			
現金および中央銀行預け金		49,711	39,695
他行からの取立中の項目		1,011	1,210
トレーディング・ポートフォリオ資産		77,348	114,717
公正価値で測定すると指定された金融資産		76,830	38,300
デリバティブ		327,709	439,909
売却可能金融投資		90,267	86,066
銀行に対する貸付金		41,349	42,111
顧客に対する貸付金		399,217	427,767
リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付		28,187	131,753
未収還付税および繰延税金資産		4,910	4,464
前払金、未収収益およびその他の資産		10,374	19,181
関連会社および合併企業に対する投資		573	711
のれん		4,605	4,887
無形資産		3,617	3,293
有形固定資産		3,468	3,786
退職給付資産	7	836	56
資産合計		1,120,012	1,357,906
負債			
銀行預り金		47,080	58,390
他銀行への未決済項目		1,013	1,177
顧客預り金		418,242	427,704
レポ取引およびその他類似の担保付借入		25,035	124,479
トレーディング・ポートフォリオ負債		33,967	45,124
公正価値で測定すると指定された金融負債		91,745	56,972
デリバティブ		324,252	439,320
発行債券		69,150	86,099
劣後負債		21,467	21,153
未払金、繰延収益およびその他負債		16,607	24,538
未払税金および繰延税金負債		1,025	1,283
引当金	5	4,142	4,135
退職給付債務	7	423	1,574
負債合計		1,054,148	1,291,948
株主資本			
払込済株式資本および株式払込剰余金	8	21,586	20,809
その他の剰余金	10	1,898	2,724
利益剰余金		31,021	31,712
親会社の普通株主に帰属する株主持分		54,505	55,245
その他の持分商品	9	5,305	4,322
非支配持分を除く株主資本合計		59,810	59,567
非支配持分	2	6,054	6,391
株主資本合計		65,864	65,958
負債および株主資本合計		1,120,012	1,357,906

¹ 財務書類に関する注記は、英語原文の51ページから54ページをご参照下さい。

要約連結財務書類

要約連結株主資本変動表(監査済)

	払込済株式 資本および 株式払込 剰余金 ¹ (百万ポンド)	その他の資本 性金融商品 ¹ (百万ポンド)	その他の 剰余金 ¹ (百万ポンド)	利益 剰余金 (百万ポンド)	合計 (百万ポンド)	非支配 持分 ² (百万ポンド)	株主資本 合計 (百万ポンド)
2015年12月31日に終了した年度							
2015年1月1日現在の残高	20,809	4,322	2,724	31,712	59,567	6,391	65,958
税引後利益	-	345	-	(394)	(49)	672	623
当期税引後その他の包括利益	-	-	(842)	936	94	(480)	(386)
株式発行	777	-	-	571	1,348	-	1,348
持分商品の発行および交換	-	995	-	-	995	-	995
配当金	-	-	-	(1,081)	(1,081)	(552)	(1,633)
その他の持分商品に係るクーポン支払額	-	(345)	-	70	(275)	-	(275)
優先株式の償還	-	-	-	-	-	-	-
自己株式	-	-	16	(755)	(739)	-	(739)
その他の変動	-	(12)	-	(38)	(50)	23	(27)
2015年12月31日現在残高	21,586	5,305	1,898	31,021	59,810	6,054	65,864
2014年12月31日に終了した年度							
2014年1月1日現在残高	19,887	2,063	249	33,186	55,385	8,564	63,949
税引後利益	-	250	-	(174)	76	769	845
当期税引後その他の包括利益	-	-	2,518	162	2,680	(78)	2,602
株式発行	922	-	-	693	1,615	-	1,615
持分商品の発行および交換	-	2,263	-	(155)	2,108	(1,527)	581
配当金	-	-	-	(1,057)	(1,057)	(631)	(1,688)
その他の持分商品に係るクーポン支払額	-	(250)	-	54	(196)	-	(196)
優先株式の償還	-	-	-	(104)	(104)	(687)	(791)
自己株式	-	-	(43)	(866)	(909)	-	(909)
その他の変動	-	(4)	-	(27)	(31)	(19)	(50)
2014年12月31日現在残高	20,809	4,322	2,724	31,712	59,567	6,391	65,958

要約連結キャッシュフロー計算書(監査済)

	2015年12月31日 に終了した年度 (百万ポンド)	2014年12月31日 に終了した年度 (百万ポンド)
税引前利益	2,073	2,256
非現金項目の調整	6,753	5,620
営業資産および負債の変動	8,972	(16,765)
法人税等支払額	(1,670)	(1,552)
営業活動からのキャッシュ純額	16,128	(10,441)
投資活動からのキャッシュ純額	(8,434)	10,655
財務活動からのキャッシュ純額	(441)	(3,058)
現金および現金同等物に係る為替レートの影響	824	(431)
現金および現金同等物の純増加/(減少)	8,077	(3,275)
現金および現金同等物 期首残高	78,479	81,754
現金および現金同等物 期末残高	86,556	78,479

¹ 払込済株式資本、その他の持分商品、その他の剰余金の詳細は英語原文53-54ページに記載されています。

² 非支配持分の詳細は英語原文の51ページに記載されています。

財務書類に対する注記(抜粋)

5. 引当金

	2015年 12月31日現在 (百万ポンド)	2014年 12月31日現在 (百万ポンド)
支払保障保険(PPI)に係る補償	2,106	1,059
その他顧客に対する補償	896	586
法律、競争および当局関連	489	1,690
余剰人員削減および事業再編	186	291
未実行のコミテッド・ファシリティおよび提供された保証	60	94
不利な契約	141	205
その他引当金	264	210
合計	4,142	4,135

支払保障保険(PPI)に係る補償

2015年12月31日現在で、パークレイズは支払保障保険(PPI)に係る補償費用および請求処理費用に対して累計総額74億ポンド(2014年:52億ポンド)を引当金として認識していました。このうち53億ポンド(2014年:42億ポンド)が取り崩され、引当金の残高は21億ポンド(2014年:11億ポンド)となっています。

2015年12月31日までに、顧客が開始した160万件(2014年:130万件)の請求¹が受理され、処理されています。2015年度に受理された請求件数は2014年度に比べ9%²減少しました。しかしながら、特に請求管理会社(CMC)からの請求件数が一定の水準を保っているため、減少率は従来の予想を下回っています。

請求件数は2015年度も引き続き減少しましたが、減少率は過去の経験に基づいた期初の予想を下回りました。この結果、経営陣により将来の請求件数の予想が引き上げられ、2015年度には合計22億ポンドの追加引当金が認識されました。引当金の見積もりは金融行為監督機構(FCA)が2015年11月26日に公表した協議文書で示した提案の評価を反映しており、これが実施された場合には、将来の請求の動向に時期と件数の面で影響が及ぶとみられます。これには、2018年とされた苦情申し立て期限がもたらす影響の見積もりや英国最高裁判所の2014年の判決(PlevinとParagon Personal Financeの訴訟)の影響に関するガイダンスが含まれています。これらの提案の潜在的影響の見積もりは困難で、協議の結果は不透明です。

引当金は経営者の重要な判断とモデリングを継続的に伴う多くの主要な仮定を用いて算出されています。

- 顧客が開始した請求件数—受理されたものの未処理の請求、および顧客が今後開始する請求の見積もり。後者の件数は時間の経過とともに減少が予想される。
- 積極的な回答率—積極的な通知郵送の結果、発生した請求件数。
- 承認率—審査の結果、有効であると承認された請求の比率。
- 平均補償額—承認された請求に関して顧客に支払われる、保険契約のタイプおよび年限に基づく予想平均支払額。
- 請求1件当たりの処理費用—有効請求1件当たりのパークレイズの審査および処理費用。

これらの仮定は、特にCMCの活動から生じる苦情を含む将来の請求水準に係る不確実性のため、引き続き主観的なものです。現在の引当金はPPIに係る補償のあらゆる将来的な予想費用に関するパークレイズの修正後の最良の見積もりを表しています。しかしながら、最終的な結果は現在の見積もりと異なる可能性があり、その差異が大幅な場合には引当金が増額または減額されることになります。

下表は、重要な仮定別に2015年12月31日までの実績データ、引当金算出に使用した予測の仮定および感応度分析を詳述し、将来の予想についての仮定が高すぎるまたは低すぎると判断した場合の引当金への影響を説明しています。

1 これまでに受理した請求件数の合計はCMC経由で受理したものを含んでいますが、PPI保険証書が存在しない場合と積極的な通知郵送への回答を含めていません。

2 受理した請求の総数を示しています。

仮定	2015年 12月31日までの		感度解析 引当金の増加/減少	2014年 12月31日までの
	累計実績	将来予測		
顧客が開始した請求の受理および処理件数 ¹	157万件	73万件	5万件=10,300万ポンド	130万件
積極的な通知郵送	680万件	150万件	5万件=1,600万ポンド	68万件
積極的な通知郵送に対する回答率	28%	26%	1%=200万ポンド	28%
請求1件当たりの平均承認率 ²	86% ³	88%	1%=1,800万ポンド	79%
有効請求1件当たりの平均補償額 ⁴	1,808ポンド	1,810ポンド	100ポンド=8,700万ポンド	1,740ポンド
請求1件当たりの処理費用 ⁵	300ポンド	295ポンド	5万件=1,500万ポンド	294ポンド

1 これまでに受理した請求件数の合計はCMC経由で受理したものを含んでいますが、PPI保険証書が存在しない場合と積極的な通知郵送への回答を含めていません。

2 請求1件当たりの平均承認率はPPI保険証書が存在しない場合を除いています。

3 平均承認率の変化は主に2015年の救済措置の増加を反映しています。

4 平均補償額は保険契約1件当たりベースで表示され、救済措置を除いています。

5 承認された苦情ベースの請求1件当たりの処理費用を示しています。